

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

## はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が平成29年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授からご意見をいただき、まとめたものです。

平成31年 2月

中能登町教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

－目 次－

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	3
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	4
(4) スポーツの振興	8
(5) 安全安心な学校づくり	8
(6) 特別支援教育の充実	10
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	11
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	15
(9) 中能登らしい学校教育の推進	15
(10) 夢プロジェクト事業	16
(11) ICT整備推進事業	16

2 学校施設・設備の整備充実

(1) 小学校整備事業	17
-------------	----

3 文化財

(1) 文化財保護事業	18
(2) 文化財管理運営事業	19

4 学校給食

5 生涯学習の振興

(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	22
(2) 生涯学習講座の実施	23
(3) 生涯学習のつどいの実施	24
(4) 公民館活動の充実	25
(5) 青少年の健全育成	29
(6) 国際交流事業の推進	30
(7) 図書館の充実	32

6	生涯スポーツの振興	
(1)	ジュニアスポーツクラブの充実	35
(2)	地域スポーツの振興	36
(3)	スポーツ施設の整備・充実	37
(4)	指導者の養成と選手の育成	38
II	教育委員の主な活動	39
III	平成29年度決算（教育委員会）の概要	41
※注釈		42

# I 事務の点検評価

## 1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) 確かな学力を育む教育の推進</p>	<p>○研究指定校及び自主研究校における研究実践の推進</p> <p>①学びの組織的実践推進事業（町内全小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主題：確かな学力の育成～分業・共有・PDCA サイクル<sup>※1</sup>の確立を通して～</li> <li>・研究の重点：分業・共有・PDCA サイクル<sup>※1</sup>を取り入れたシステムの効率的な運用を通して、児童の確かな学力の育成につなげていく。</li> </ul> <p>②能動的学習推進事業（中能登中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主題：確かな学びと豊かな心を育み、主体的・協働的に学ぶ生徒の育成～アクティブ・ラーニング<sup>※2</sup>の研究と推進を通して～</li> <li>・研究の重点：アクティブ・ラーニング<sup>※2</sup>と ICT 機器<sup>※3</sup>も有効活用を継続するとともに、振り返りを重視するなどして、深い学びを促していく。</li> </ul> <p>③理科教育設備整備費事業（鹿島小学校、鳥屋小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科アシスタントを活用し、観察・実験活動の充実を図る。</li> <li>・観察・実験活動の安全を図る。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの組織的実践推進事業については、拠点校である鹿島小学校は理解型・思考型授業スタイルを確立した。連携校も授業スタイルを取り入れ、各校で学力向上ロードマップに基づく分業化が進み、組織的に指導改善を進める体制づくりができた。</li> <li>・能動的学習推進事業については、グループでの課題解決型学習が推進された。また、ICT<sup>※3</sup>の活用を工夫し、活用率が上がった。</li> <li>・理科教育設備整備費事業については、鹿島小学校の理科教材等の整備も含め、観察・実験活動に有効であった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの組織的実践推進事業と能動的学習推進事業は、最後の3年目の事業であった。拠点校や推進校では、これまでの取組が工夫改善され成果が上げられた。さらに、町内の他の学校にも成果が広まった。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○小学校における外国語活動の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による英語教育の拡充</p> <p>①ALT (外国語指導助手) を4名配置することで、各小中学校にALTが常駐となった。 鹿西小：ジェームス 鳥屋小：ティラー 鹿島小：ウォルター 中能登中：トーマス</p> <p>②町指定英語教育実践事業において、鳥屋小学校が授業公開をした。(平成29年10月27日) その際に、各小中学校のALTも活用し、HRT(担任)とALTとの授業の進め方について全教室で発信した。</p> <p>③平成32年度から完全実施となる、3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科に向けて、その移行期間に使用する「新教材」の研修会を町教委主催で開催した。 講師 愛知県立大学准教授 池田 周 氏 内容 ・「新教材」を使った模擬授業 5年生 ・「新教材」指導上の留意点</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALT (外国語指導助手) が各小中学校に常駐することで、児童・生徒のネイティブの英語に触れる機会が増し、外国語への慣れ親しみや学習効果を高めることができた。</li> <li>大学講師による「新教材」の模擬授業及び解説により、教員の外国語の授業への見通しが持ち易くなった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導に不安感をもつ教員が多い中、英語専科教員等の人的配置を図りたい。</li> <li>小中学校の外国語指導をつなげるため、小中連携の取組を進めたい。</li> <li>ALTの雇用契約を委託契約から派遣契約に変更し、各学校の必要に応じたきめ細かな対応ができるようにする。</li> </ul>
	<p>○学力調査の実施と活用</p> <p>①町学力テストの効果的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 9月7日 1年～6年生</li> <li>第2回 1月12日 1年～6年生</li> <li>※第2回は町総合学力調査として実施</li> <li>※中学校3年生は七尾鹿島で実施日程をそろえた校内実力テストを年6回実施</li> </ul> </li> <li>②英語学力調査 (GTEC<sup>※5</sup>) の実施 (中能登中学校) <ul style="list-style-type: none"> <li>11月30日 2年～3年生</li> </ul> </li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学力テストでは町内平均と比べることで学力の水準を知ることができ、学校全体の学力向上に役立った。また町内一斉で行うことで、学級全体で頑張ろうという意識づけになり、学力全体の底上げには効果があった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力テストの内容をさらにバージョンアップさせ、今後も引き続き実施していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p>○地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学ぶための教科の新設及び郷土愛高揚の促進</p> <p>①土曜授業や総合の時間で史跡, 雨の宮古墳群, 石動山や学校周辺の歴史文化遺産の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校 5月～6月 校区環境調査(6年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>5月 田植え体験(5年)</li> <li>10月 稲刈り体験(5年)</li> </ul> </li> <li>・鹿西小学校 9月26日 雨の宮グリーン広場(全校)               <ul style="list-style-type: none"> <li>5月19日 田植え体験(5年)</li> <li>7月 田んぼの観察(5年)</li> <li>8月29日 川の水質検査(6年)</li> </ul> </li> <li>・鹿島小学校 5月8日 田植え体験(5年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>9月11日 稲刈り体験(5年)</li> <li>9月12日 サマイほり体験(2年)</li> <li>7月29日 石動山森づくり(6年)</li> <li>9月23日 石動山植樹(6年)</li> </ul> </li> <li>・中能登中学校 4月27日 碁石ヶ峰自然公園(3年)               <ul style="list-style-type: none"> <li>古墳公園(1年)</li> </ul> </li> </ul> <p>②「中能登町子どもふるさと検定」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5年生対象</li> <li>・実施日 11月10日</li> <li>・受験者 139名, 合格者数 130名</li> <li>・合格率 (93.5%)</li> </ul> <p>③社会科副読本の活用(小学3,4年生対象)</p> <p>『わたしたちの中能登町』 『わたしたちの中能登町 資料編』 (文化財, 名所, 観光地等掲載)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの豊かな自然の観察や歴史文化遺産の見学, ふるさと検定等を通して, 町のよさを再認識し, 愛着を持つことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化遺産の見学やふるさと検定を引き続き実施し, 平成27年度に作成した社会科副読本を活用し, 郷土・故郷への理解が深められるように努めたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p><b>○児童活動及び生徒会活動の重視</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校～中能登中スタイル【学びの約束】4か条の啓発および定着～</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【学びの約束】4か条</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業のあいさつは、姿勢を正し元気よく。</li> <li>2 ベル学をする。(チャイムで授業開始)</li> <li>3 積極的に学び合いをする。</li> <li>4 学習環境を整える。</li> </ol> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会の日常活動、部活動紹介、生徒総会、学級紹介、校内陸上・球技大会、募金活動、全校レクリエーション、平和集会、学校祭、届けよう服のチカラプロジェクト*6、校内百人一首大会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの力で自分たちの学校を作り上げていこうとする主体的な行動が見られるようになってきた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校のスタイルが定着しつつあるので、平成30年度も小学校と連携して、小学校児童会活動の活性化を図るため、交流を行っていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取組み</b></p> <p>①平和集会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月7日</li> <li>・内容 紙で木の葉をつくり全校生徒に配付し、一人一人が平和へのメッセージを葉に書いた。全校生徒のメッセージを書いた葉で大きな木を作成した。</li> </ul> <p>②わく・ワーク職場体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 7月4日～6日</li> <li>・参加者 中能登中学校 2年生 176名</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争や平和に対する関心や理解を深め、平和な未来を築くために、今すべきことを考えることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な活動であり、今後も継続していく。</li> </ul>
	<p><b>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</b></p> <p>①非行・被害防止講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブルやいじめ、盗み等、児童生徒の身の回りにありがちな事例から、現状及び未然防止の方法について保護者・児童生徒・教職員を対象に実施した。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 2月15日 ネットによる被害防止</li> <li>2) 鳥屋小学校 11月25日 親子のコミュニケーション</li> <li>3) 鹿島小学校 7月11日 不審者対応</li> <li>4) 中能登中学校 2月19日 SNSによる被害</li> </ol> <p>②薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師や保健師等から、薬物・喫煙・アルコール飲酒が心身に及ぼす被害について、科学的根拠に基づいた講義を受けた。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 11月6日 学校薬剤師</li> <li>2) 鳥屋小学校 11月7日 学校薬剤師</li> <li>3) 鹿島小学校 12月5日 保健所職員</li> <li>4) 中能登中学校 5月13日 学校薬剤師</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非行・被害防止講座では、指導主事や警察署の生活安全課職員より、各学校の必要に応じた講座が実施された。テーマ別懇談会や紙芝居を基にした意見交換など、参加者の積極的な姿勢が見てとれ好評だった。</li> <li>・講師がパワーポイントや映像等の視聴覚機器を使って、薬物などの危険性や依存性について分かりやすく説明し、児童生徒もよく理解できた。県立田鶴浜高校衛生看護科による「薬物の誘いを断る」内容の寸劇では、危険性への意識を一層高めることができた。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>③いじめ問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し、小学校に年間2回、中学校に年間3回派遣した。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西小学校 12月18日, 3月5日</li> <li>2) 鳥屋小学校 6月5日, 3月7日</li> <li>3) 鹿島小学校 8月30日, 3月12日</li> <li>4) 中能登中学校 9月29日, 3月2日</li> </ol> </li> <li>・「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では、いじめ問題対策チーム、個別案件対応班、児童会・生徒会の自主的活動、いじめアンケート調査、教育相談体制の整備などの取組を行った。</li> <li>・平成26年9月19日に中能登町いじめ問題対策連絡協議会条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定</li> <li>・中能登町いじめ問題対策連絡協議会 第1回 5月27日, 第2回 2月22日</li> </ul> <p>④非行（暴力）の防止と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いしかわS&amp;Pサポート制度」※7を活用し、積極的に警察と連携し、多様化する非行の現状を踏まえ犯罪被害の防止と健全育成対策を進める。</li> </ul> <p>⑤不登校児童生徒への対策と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向の状況を日頃の児童生徒の観察を通して把握し、早期に適切な対応が取れるようにした。</li> <li>・カウンセラー派遣事業や個別指導、別室指導を実施している。</li> </ul> <p>⑥ネットの諸問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットキャラバン※8の推進や、ネット被害防止指導資料（CD）、資料「親子のホッとネット大作戦」等を活用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業では、各学校の児童生徒の実態に応じた事案内容で実施し、いじめの早期発見や教師の未然防止意識の向上につながった。</li> <li>また、「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では、いろいろな立場や場面からいじめを発見し、迅速な対応ができています。いじめ事案について管理職を中心に学校全体で取り組む体制ができてきています。</li> <li>・いじめ問題対策連絡協議会を2回開催した。生徒指導担当者からの事例に対し、法務局や児童相談所各関係機関からの指導を受けた。問題を共有することで、具体的に対応を図ることができた。</li> <li>・「いしかわS&amp;Pサポート制度」※7を活用し、警察と連携した非行防止に努めた。生徒指導は落ち着いてきた。</li> <li>・不登校者数は小中併せて19名で、前年度より減少傾向にある。一人ひとりに応じた支援を継続していく。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、非行、不登校対策については継続して事業を実施していく。学校だけでは解決が困難なケースではSSW※9を活用し、対応していく。</li> <li>・携帯電話やスマートフォンなど情報機器等の児童生徒の利用については、家庭と連携した「なかのとネットマナー」に取り組んでいく。また、ネット被害予防のための研修会、勉強会の場をもつよう努めたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p><b>○石川県教育委員会指定</b></p> <p>①いしかわ道徳教育推進事業            ・鹿西小学校公開授業研究会            1) 研究主題              「自分の思いを表現できる子の育成」            2) 実施日 10月5日            3) 場 所 鹿西小学校            4) 内 容 全体説明, 指定授業, 公開授業, 全体会, 分科会</p> <p>②学びの組織的実践推進事業            ・鹿島小学校公開授業研究会            1) 研究主題              「確かな学力の育成」            ～分業・共有・PDCA サイクル※1の確立を通して～            2) 実施日 10月17日            3) 場 所 鹿島小学校            4) 内 容 公開授業, 全体会, 分科会</p> <p>③能動的学習推進事業            ・中能登中学校公開授業研究会            1) 研究主題              学習と自分を結び、共に学び合いながら、学習を深めていく生徒の育成～能動的学習の研究と推進を通して～            2) 実施日 11月22日            3) 場 所 中能登中学校            4) 内 容 公開授業, 指定授業, 分科会, 全体会</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとに研究主題のテーマに迫るように研究を進め、取組の成果を発表する場として研究発表会を実施し、定期的に取り組の検証を行ってきた。道徳教育の推進や児童生徒の良好な人間関係づくりに取り組むことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ道徳教育推進事業については、鹿島小学校が取り組む予定である。「特別の教科」道徳の推進校としての役割を担うよう引き続き実施していきたい。</li> <li>・学びの組織的実践推進事業と能動的学習推進事業は、終了した。学力向上プログラムサポート事業が新設され、中能登中学校がサポート校として指定されている。サポート校を軸とした学力向上の体制づくりを推進していきたい。</li> </ul>
	<p><b>○中能登町教育委員会指定</b></p> <p>①外国語教育実践推進事業            ・鳥屋小学校公開授業研究会            1) 研究主題              意欲的に学び、伝え合い深め合う児童をめざして～コミュニケーションを図る楽しさを～            2) 実施日 10月27日            3) 場 所 鳥屋小学校            4) 内 容 公開授業, 全体会, 分科会</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業等をとおして、効果的なALT や電子黒板等の活用方法について共通理解を図ることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年度から新学習指導要領の全面実施に向けて、外国語科及び外国語活動の時数増と指導内容の質の向上を図っていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○キャリア教育の推進</b></p> <p>①土曜授業「中能登しごと館」            1) 実施日 11月25日            2) 場 所 中能登中学校            3) 受講者 中学1～3年生(539人)            4) 内 容 保護者・地域の方々(約50名)が、37のブースを設けて各職種についての説明や体験活動を行う。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校PTAの牽引により、地域の方々を巻き込んだ「中能登しごと館」を開催することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中能登しごと館」を今後も継続して開催し、キャリア教育を推進するとともに生徒の学ぶ意欲の向上を図っていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○中能登町子ども議会の開催（第1回）</p> <p>1)開催目的</p> <p>1. 将来の中能登町を担う子どもたちが、自分の町の姿をよく見つけ、快適で住みよいまちづくりのため、町に対する自分の夢や希望を提言することにより、子どもの町政への関心を高めることができるようにする。</p> <p>2. 行政や議会の仕組みを学ぶことをとおし、政治を身近に感じるとともに、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めることができるようにする。</p> <p>2)開催日 平成29年12月6日（水） 13時40分から15時50分</p> <p>3)場 所 中能登町議会本会議場 大会議室 福祉センター第2研修室</p> <p>4)参加者 中能登町立中能登中学校3年生 (こども議長1名 こども議員14名)</p> <p>5)内 容</p> <p>第1部 教育民生常任委員会（福祉センター第2研修室 委員7名生徒23名）、総務建設常任委員会（大会議室 委員7名生徒22名）に分かれ、議会の仕組み及び委員会の役割の説明のあと、子どもたちからの議会の仕組みや議員の役割についての質問をとおし、子どもたちと議員との交流を行う。</p> <p>《参加者》各常任委員会の議員、議会事務局、教育委員会事務局</p> <p>第2部 通常の議会で行う一般質問同様、子どもが町に対し質問を行い、町長及び教育長が回答するという方法で行う。クラス代表5組、生徒会2組で7組の一般質問</p> <p>《参加者》議 場 (中学生)各クラス代表10名、生徒会5名 (町執行部)町長、副町長、教育長、課長 傍聴席 議会議員、教育委員、中学生生徒(30名)、保護者 (議場、傍聴席参加以外の中学生3年生は中能登中学校でインターネット配信される議会中継を教室で傍聴する)</p> <p>【タイムスケジュール】</p> <p>13:40～14:10 教育民生常任委員会、 総務建設常任委員会</p> <p>14:10～14:20 休憩</p> <p>14:20～15:00 本会議場一般質問</p> <p>15:10～15:20 休憩</p> <p>15:20～15:50 本会議場一般質問</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初めてのこども議会の開催をした。議場では、中学生生徒の活発な提案型の一般質問となった。常任委員会では、中学生と議員との交流があった。中学生生徒にとって役場の中に「空気がまるで違う緊張感があった」との意見のとおりに貴重な体験をすることができた。また、役場執行部や議会にとっても意識改革につながったものと思われる。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も継続し開催し、町政への関心とまちづくりに進んで参画する意欲を高めていく。</p> <p>今年度は中学生であったが、小学生も対象としていく。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) スポーツの振興	<p><b>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</b></p> <p>①中学校体育連盟が主催する大会（10割補助）、これに準ずる大会も（10割補助）に、派遣費補助を実施</p> <p>②石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</p> <p>③小学生のスポーツ活動では、石川県小学生陸上競技大会、鹿島郡小学生陸上競技大会、いしかわっ子駅伝交流大会などの参加費等補助を実施</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では運動部活動指導の工夫改善支援事業を積極的に取り入れ、町独自のコーチ派遣事業と合わせ、スポーツの振興に取り組んだ。全国大会に参加した種目は弓道女子団体、ソフトテニス男子個人、柔道男子個人、女子個人。また、ソフトテニス男子個人でJOC全日本ジュニア選手権大会において3位入賞した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から、準ずる大会も10割補助となり、また、練習試合や中体連以外の大会や錬成会、練習試合等へも5割補助やスクールバスの空き時間を活用するなど、今後も継続して支援をしていきたい。</li> </ul>
(5) 安全安心な学校づくり	<p><b>○交通安全意識の高揚と実践</b></p> <p>①ヘルメット助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学時に新1年生申請者にヘルメット購入費の全額を補助（助成生徒数165人）</li> </ul> <p>②通学路の緊急合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では通学路の安全点検や、児童に対して通学体験などを指導。「中能登町通学路安全プログラム」（町ホームページを参照）に基づき公表した。</li> </ul> <p>③見守り隊などボランティア活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校PTAと連携をとり通学の恒常的な安全確保に努めた</li> </ul> <p>④交通安全教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校で年度初めに七尾警察署安全課職員及び地元駐在所所長を講師に交通安全教室を実施した。とくに小学校は低学年と高学年に分けて実施。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では区域に関係なく自転車通学を認めているため、従来から入学時、新1年生申請者にヘルメットを配布、また交通安全教室を開催するなどして交通事故防止に取り組んだ。</li> <li>・小学校では、関係機関と連携し通学路の安全点検を実施し危険個所の改善に取り組んだ。</li> <li>・「中能登町通学路安全プログラム」が策定されたことにより関係機関との連携も確立され危険個所改善が早くなった。</li> <li>・新学期、最初の全校集会等で見守り隊などボランティアとの対面式や学年末の全校集会等で交流を図るなど、児童たちに見守り隊の存在を知ってもらうことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、危険個所の改善、交通安全教室を実施するなど、今後も事業を継続していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○地震や洪水など天災発生時の避難誘導</p> <p>①教頭会での避難対策打合せ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施</li> </ul> <p>②実践的防災教育の実施と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島小学校           <ol style="list-style-type: none"> <li>1)6月24日, 7月2日, 7月8日 4・5・6年 PTCA 「防災教育・安心安全について考えよう！」</li> <li>2)11月20日 避難訓練(土砂災害)・講演会等</li> </ol> </li> <li>・中能登中学校で「防災体験学習ユニット」を実施 (広域斜面危険度判定システム研究会, 石川県土木部砂防課, 中能登土木総合事務所)           <ol style="list-style-type: none"> <li>1)基本学習 ドローン体験</li> <li>2)体験学習-1 扇状地・砂防施設の調査(空撮)</li> <li>3)体験学習-2 道の駅調査, 集中豪雨体験</li> <li>4)ハザードマップ作り</li> <li>5)行政との意見交換</li> </ol> </li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災アドバイザーの指導助言から、避難訓練が実のある情報提供や定期的に振り返り、考える機会となるよう検証と改善を繰り返す必要性を確認できた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災力・生きる力をもった次世代の育成の視点から、防災教育に取り組んでいく。</li> <li>・児童引き渡しの基準や具体的手順の確立、放送に頼らない訓練方法等も検討していく。</li> </ul>
	<p>○火災や原発事故などへの適切な対応</p> <p>①避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施必須化に伴い、各学校において年間2回から3回程度の学校独自の訓練を実施した。</li> <li>・Jアラート<sup>※10</sup>訓練やシェイクアウトいしかわ等、県・町防災訓練等にも積極的に参加した。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で継続して避難訓練を実施することができた。また、危機管理マニュアルの見直しを行った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町は、災害が比較的、少ないため、防災意識が低い傾向にある。津波についても、将来的には知識や判断が必要となってくる。防災教育を工夫しながら継続して、避難訓練を実践していく必要がある。</li> </ul>
	<p>○防犯教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校において1回から2回実施した。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯教室では不審者を想定した避難訓練及び防犯の講話などを実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に不審者等に出会ったときに身を守れるよう、また、未然防止できるよう今後も継続して実施する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 特別支援教育の充実	<p>○未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <p>①県教育相談 6月2日</p> <p>②県就学相談 10月3日</p> <p>③町就学相談 8月29日 10月27日</p> <p>④教育支援委員会 11月30日 未就学児, 在籍児童及び生徒</p> <p>⑤各小中学校において専門相談の実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談や就学相談を実施することができ、保護者の方の相談に対応することができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談できる場であることを周知し、今後も相談会の開催を継続していきたい。</li> </ul>
	<p>○特別支援学級の充実</p> <p>①各小中学校に支援員配置</p> <p>②特別支援教育研修会 (1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 4月11日</li> <li>・場 所 ラピア鹿島</li> <li>・対象者 支援員</li> </ul> <p>特別支援教育研修会 (2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月7日</li> <li>・場 所 ふるさと創修館</li> <li>・対象者 支援員</li> </ul> <p>③保育園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回～4回 町内保育園を訪問</li> <li>・夏休み期間等, 町内保育園を小学校教諭と訪問</li> </ul> <p>④年中児訪問</p> <p>1月から2月にかけて, 町内保育園を訪問</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員を配置することで、個々に応じた支援が行われた。</li> <li>・支援員を対象に研修会を開催した。今後も継続予定である。</li> <li>・保育園訪問を通して早期に把握し、スムーズな小学校児童の受入れができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園, 小中学校の連携を今後も継続していきたい。</li> <li>・平成27年度から, 保健センターを中心に年中児訪問を実施している。平成30年度においても継続の予定である。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p><b>○教育委員会の学校訪問</b></p> <p>1. 実施日</p> <p>6月21日 中能登中学校 6月16日 鹿西小学校 6月14日 鹿島小学校 6月19日 鳥屋小学校</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) 授業づくり</p> <p>①「目標・ねらい」の明確な工夫について ②「まとめ・振り返り」の工夫について</p> <p>(2) ICT*<sup>3</sup>の活用</p> <p>(3) 支援員との連携</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画訪問Aに合わせて、各小中学校の現状を把握することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画訪問はA・B・Cあり、各校年間3回、指導主事の訪問を受けている。計画訪問にあわせて委員会が各校を複数回訪問することで、具体的な支援策の検討・提案が可能となる。今後も継続していきたいと考えている。</li> </ul>
	<p><b>○平成29年度 第1回中能登町総合教育会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 12月19日(火)13:30</li> <li>出席者 町長 副町長 教育長 教育委員4名 参事3名 町長部局 課長, 課長補佐11名 教育委員会部局 課長, 課長補佐7名</li> <li>議題</li> <li>(1) 中能登町学校教育 ICT 環境整備計画について</li> <li>(2) 文化財事業についてについて</li> <li>(3) 学校危機管理について</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合会議を通して、町長ならびに町長部局と今後の教育行政について協議することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町長部局からも教育に関しての議題を提出する。</li> <li>実績を含めて報告をする。</li> </ul>
	<p><b>○教育委員による視察</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 9月29日</li> <li>教育委員(4名)</li> <li>(1) 石川県かほく市立図書館3館視察 かほく市立中央図書館 かほく産業文化センター図書室 宇ノ気生涯学習センター図書室</li> <li>(2) 福井県鯖江市立鳥羽小学校視察</li> <li>(3) 福井県勝山市「白山平泉寺」</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県鯖江市立鳥羽小学校では、保小連携に向けた取り組みについて意見交換できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園と小学校との連携を密にし、入学前後の対応や通級学級、特別支援学級の設置など、子どもたちがスムーズに学校生活に溶け込めるような取り組みを行っていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	○町住民福祉課と教育委員会と学校の視察 ・実施日 1月25日～26日 ・参加者 6名 ・内容 (1)埼玉県草加市立草加中学校, 草加小学校, 西小学校, 渋川小学校の授業参観 (2)シンポジウム 草加中学校 ・草加中学校区研究発表 ・講演 「幼保小中を一貫した教育の在り方について」 白梅学園大学大学院特任教授 無藤 隆 氏 ・パネルディスカッション	【成果】 ・2校の小学校では, 小学校教諭と中学校教諭によるTTの授業や認定子ども園の園児と交流する生活科の授業等が公開された。また, 中学校では, 小学校6年生と中学校1年生との外国語(英語)の合同授業等が公開された。幼保小中の教職員と園児・児童・生徒が, 交流を重ねている様子を参観できた。 【今後の方向性】 ・草加市の幼保小中を一貫した教育の取組を参考にし, 当町でも取り入れていきたい。
	○姉妹都市「紀宝町」学校教職員との交流 (1)紀宝町への視察訪問 ・実施日 10月30～31日 中能登町(11名) ①矢渕中学校, 井田小学校訪問 ②公開授業についての懇談会 (2)紀宝町からの視察訪問 ・実施日 11月24日～25日 紀宝町(15名) ①鳥屋小学校, 中能登中学校学校訪問 ②中能登町の教育実践や教育設備等についての情報交換	【成果】 ・両町の学校教育の方針, 内容等について理解を深めた。 【今後の方向性】 ・今後は両町の先生方, 児童, 生徒との交流を更に深めていきたい。



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組</p>	<p>○教育委員会連合会研修参加</p> <p>①定期総会講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 5月9日</li> <li>・基調講演 「次期学習指導要領へ向けて」</li> <li>・講師 文部科学省初中教育局教育課程課 専門官 石田有記 氏</li> </ul> <p>②教育委員会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月1日</li> <li>・演題 「困った子ども」ってどんな子? ～通常学級での特別支援教育～</li> <li>・講師 金沢星稜大学人間科学部教授 金沢市教育委員 河野俊寛 氏</li> </ul> <p>③研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 10月13日</li> <li>・基調講演「本県教育の課題と対応」</li> <li>・講師 石川県教育委員会教育次長 升屋 和夫 氏</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○その他研修参加</p> <p>①中能登町、七尾市教職員と合同講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 8月21日</li> <li>・演題 「本県教育の課題と対応」</li> <li>・講師 石川県教育委員会 教育長 田中 新太郎 氏</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各講演会、セミナーを通して教養を高めた。</li> <li>また、田中新太郎教育長には、中能登町、七尾市教職員の合同研修会において、学校経営の取組について講演していただいた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教委連の研修、セミナーについては今後とも参加し、教育委員の研修を実施したい。また、教育委員会主催の講演会等も実施し、見識を広めていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取り組み	<p><b>○保小連携推進事業</b></p> <p><b>①保小連携推進委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 6月29日(木) 平成29年度の方針の共通理解 ア アプローチ・スタートカリキュラムの改善 イ 保育士と教員の交流活性化 ウ 年長児授業体験の実施 エ 研修会への参加</li> <li>・第2回 12月11日(月) アプローチ及びスタートカリキュラム作成上の留意点として、保小ともに「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を共有</li> <li>・第3回 2月8日(木) 保育園・認定こども園：アプローチカリキュラムの見直しと修正 小学校：スタートカリキュラムの見直しと修正</li> <li>・第4回 3月8日(金) 平成30年度版アプローチ・スタートカリキュラム完成</li> </ul> <p><b>②保小連絡会</b></p> <p>各小学校と関連する保育園・認定こども園において日程調整をし、年間3回の保小連絡会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期…1年生の授業参観と情報交換会</li> <li>・夏季休業中…年長児の保育参観と情報交換会</li> <li>・3学期…1年生の授業参観と次年度入学園児の情報交換会(学級編成)</li> </ul> <p><b>③研修会参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校研究発表会や計画訪問等への参加</li> <li>・保育園研修会への参加 ア「幼児期の発達について」 講師：金城大学短期大学部 米川祥子氏 8月28日(月) 於：町立さくら保育園 イ「保育所保育指針改定について」 講師：金城大学短期大学部 和泉美智枝氏 11月15日(水) 於：町立こすもす保育園</li> <li>・草加市教育委員会研究委嘱 研究発表会 視察「幼保小中を一貫した教育の在り方について」 講師：白梅学園大学 無藤隆氏 他 1月26日(金) 於：連携保・小・中学校</li> </ul> <p><b>④行事参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会(かざぐるま取り)</li> <li>・年長児ようこそ集会(新1年生を迎える会)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児10か月～小学校1年生7月までを幼児教育と小学校教育の接続期と捉え、その円滑な接続を目指すアプローチカリキュラム及びスタートカリキュラムを作成した。</li> <li>・カリキュラム作成において、新学習指導要領等に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等について研修し、保小で共有することができた。その結果、就学前においては入学を見据えた指導が、入学後においては幼児教育の学びを引き継ぎゼロからではない指導を目指すことができた。</li> <li>・年長児授業体験では、小学校の教室で教諭が授業を行った。返事や挙手、発表などを経験することで、園児の入学への期待感や意欲向上につながった。</li> <li>・保小連絡会では、相互の活動参観後、情報交換をした。保育園にとっては入学後の様子が分かり就学に向けての示唆を得る機会となった。小学校にとって、保育士の園児への関わり方が参考となった。</li> <li>・保小中の職員交流の機会を深めるために、互いの研修会への参加を図った。大学講師による講演では、子どもの発達を踏まえた接続の在り方について専門的な示唆を受けることができ、保小連携を推進する参考となった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保小の合同研修会の充実 アプローチ及びスタートカリキュラム実施後の成果や課題をもとに、保小双方からの意見を出し合い、子どもの実態に対応したカリキュラムとなるように改善を進める。</li> <li>・取組の共有化 各小学校での接続期における効果的な取り組みについてデータベース化し、共有できるようにする。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○学校行事や学校生活についての情報公開, 行事等の地域住民への参加呼びかけ</p> <p>①ケーブルテレビ (なかのとチャンネル) 放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども通信</li> <li>各小中学校の取組等を紹介</li> <li>・なかのとスペシャル</li> </ul> <p>②広報掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発行の町広報に掲載</li> <li>・ホームページ掲載</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や授業, 活動などの取り組みについてケーブルテレビで番組枠を設けて放送した。広報, ホームページなどを利用し, 保護者だけでなく地域住民への情報提供を行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫しながら, 継続して情報発信に努める必要がある。</li> </ul>
	(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <p>①中能登町立学校通学区域規則の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度施行</li> </ul> <p>②中能登中学校への区域外就学生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 年生 12 人, 2 年生 4 人, 3 年生 5 人</li> </ul>
<p>○環境教育の充実</p> <p>①児童環境学習活動発表会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 11 月 28 日</li> <li>・参加者 鹿島小学校, 鳥屋小学校, 鹿西小学校 6 年生 合計 152 名参加</li> </ul>		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童環境学習発表会も 8 回目の開催となり, 児童の環境活動への取組が定着し, 地域を巻き込んだ活動ができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を学ぶ学習姿勢は, 今後も重要と考えられ, 継続して児童に環境を守ることの姿勢を学ばせたい。また, 環境を通して, 生命の尊厳を教えていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(10) 夢プロジェクト事業	<p><b>○夢プロジェクト活動事業</b></p> <p>①準備会議(1回),実行委員会(2回),推進会議(5回)を開催し,事業推進の為に組織や活動についての意見交換,活動計画の提案,活動事業を承認し実施した。</p> <p>②取組の重点(3本柱)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校:学習,ふれあい,運動</li> <li>・中学校:勉強(学力向上),生徒会活動,部活動</li> </ul> <p>③長期展望(3期にわたる取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅰ期 開校を飾る(助走)</li> <li>・第Ⅱ期 一気に急上昇(ハイジャンプ)</li> <li>・第Ⅲ期 県下に名高い中学校(充実発展)</li> </ul> <p>④推進組織(専門部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい部会,学力向上部会,部活動運動部会,生徒会部会,PTA部会,生活指導部会</li> </ul> <p>※各専門部会ごとに活動計画を立案し年間計画を立て,夢プロジェクト構想達成のために実践活動を推進する。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢プロジェクト第Ⅲ期1年目,総まとめの3年間に向けて,活動も充実し,学校・家庭・教育委員会・体育協会等が一体となって取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度からの3年間は,総仕上げとなる第Ⅲ期となるため,町内全小中学校の充実発展と,併せて「教育の町 中能登」を具現化するよう取りまとめていく。</li> </ul>
(11) ICT整備推進事業	<p><b>○学校 ICT※<sup>3</sup>機器整備事業</b></p> <p>①中学校生徒用デスクトップパソコン 41台更新</p> <p>②中学校教師用ノートパソコン 60台更新</p> <p>③タブレットパソコン 164台増設 (鳥屋小学校44台・鹿島小学校45台・鹿西小学校45台・中能登中学校30台増設)</p> <p>④電子黒板 12台増設(各小中学校3台増設)</p> <p>⑤書画カメラ 8台新設(各小中学校2台新設)</p> <p>⑥無線LANアクセスポイント 80台新設 (鳥屋小学校18台・鹿島小学校25台・鹿西小学校13台・中能登中学校24台新設)</p> <hr/> <p><b>○ICT※<sup>3</sup>活用推進事業</b></p> <p>①校務支援ソフトコミュニケーションツール導入</p> <p>②ICT活用教育支援ソフトウェア導入(SKYMENU)</p> <p>③小学校教材ソフトウェア導入(キューブきつず)</p> <p>④小中学校ICT※<sup>3</sup>支援員配置(月2日)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の教師用・生徒用パソコンを更新した。タブレットパソコンについては,小中学校ともに増設したことによりタブレット活用による授業環境の整備が進んだ。また,電子黒板を増設,書画カメラを新設し,授業環境の整備が進んだ。ICT※<sup>3</sup>支援員については,昨年度から引き続き小中学校に配置した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の更新を平成30年度から予定していたが,財政状況厳しい折,平成31年度以降に先延ばしとなった。しかし,小学校のパソコンが更新時期にあり,優先順位の見直しが必要となる。</li> </ul>

## 2 学校施設・設備の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 小学校整備事業	<p><b>○事業の概要</b></p> <p>1. 鳥屋小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 鳥屋小学校防災機能強化工事</li> <li>・場 所 中能登町末坂ナ部7番地</li> <li>・工 期 6月20日～11月30日</li> <li>・工事費 87,480,000円</li> <li>・内 容</li> </ul> <p>(1) 外壁改修工事(校舎棟)</p> <p style="padding-left: 20px;"><b>【建築工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接仮設工事 一式</li> <li>・外壁改修工事 一式</li> <li>・屋根下外壁材解体撤去工事 一式</li> <li>・屋根下鉄骨工事 一式</li> <li>・屋根下外壁改修工事 一式</li> <li>・内部一部塗装改修工事 一式</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校校舎及び鹿西小学校校舎, 屋内運動場の防災機能強化工事(主に外壁改修等)を実施し完成した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度には, 鳥屋小学校及び鹿西小学校の防犯カメラ設置工事を予定しており, 完成すれば町内小中学校すべてに防犯カメラが設置されることとなる。</li> </ul> <p>また, 鳥屋小学校と鹿西小学校は職員室が2階にあり, 職員玄関のオートロック工事を予定しており, 安全安心な学校設備の整備が充実する。</p>
	<p>2. 鹿西小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 鹿西小学校防災機能強化工事</li> <li>・場 所 中能登町能登部下110部20番地</li> <li>・工 期 6月16日～11月30日</li> <li>・工事費 91,800,000円</li> <li>・内 容</li> </ul> <p>(1) 外壁工事</p> <p style="padding-left: 20px;"><b>【建築工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接仮設工事 一式</li> <li>・外壁改修工事 一式</li> <li>・取壊し・発生材運搬 一式</li> </ul> <p>(2) 防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接仮設工事 一式</li> <li>・外壁改修工事 一式</li> <li>・取壊し・発生材運搬 一式</li> </ul>	

### 3 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p><b>○重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業</b></p> <p>①伝統的建造物群保存地区保存対策調査準備委員会の開催（4月5日、3月7日）</p> <p>②能登部上、徳丸、能登部下地区を対象に、伝統的建造物群保存事業の説明会開催</p> <p>③輪島市黒島の重要伝統的建造物群地区を30名が視察研修した。</p> <p>④伝統的建造物群保存対象家屋8軒を調査した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、調査委員会設立にむけ、委員会を開催した。また、対象区民の理解を得るために、地区説明会や視察研修を実施し、理解を深めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業を進める上において、建造物の調査等が行われるため地域住民の理解が必要不可欠であり、住民説明会をとおして、重伝建の制度と共に理解を求めていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○史跡石動山保存整備事業</b></p> <p>昭和52、53年度遺構実測図をデジタル化した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査報告書の刊行の基礎資料として遺構図のデジタル化を実施。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書作成に向けて基礎整理を引き続き実施する。</li> </ul>
	<p><b>○乗念寺文書目録を作成</b></p> <p>平成28年度から2カ年をかけて調査した乗念寺が所蔵する史資料673点を文書目録として、刊行した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書等の調査成果を目録にまとめた。町の基幹産業である織物産業の歴史の一端や地域や寺の成り立ちについて明らかにすることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文書目録の販売や特別展示を実施し、地域の方々の興味や関心に答える事業を実施。</li> </ul>
	<p><b>○指定・登録文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会の開催（2回）</li> <li>指定文化財の保存管理状況の調査（2回）</li> <li>指定文化財の状況</li> <li>指定・登録文化財119件（うち国指定4件、県指定6件、町指定104件、国登録5件）</li> <li>新規登録文化財（国登録有形文化財） <ul style="list-style-type: none"> <li>旧丹後家住宅主屋</li> <li>旧丹後家住宅土蔵</li> <li>旧丹後家住宅表塀</li> <li>旧丹後家住宅庭門及び塀</li> </ul> </li> <li>指定文化財の維持管理助成（43件）</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護審議会を開催し、指導及び助言を得た。町が所有する伝統的建造物「旧丹後家住宅」が国登録有形文化財に登録され、織物産地として繁栄した旧宅を保存することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定や登録されるべき文化財の調査研究を進め、文化財の保存と活用が適切に図られるよう努めたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	○指定文化財の説明板設置事業 ・町指定天然記念物天日陰比咩神社「カエデ」(二宮地内)の説明板設置	【成果】 ・どぶろく造りの神社として著名であり、近年イベント等を開催され、町内外から多くの方々が訪れていることから、経年劣化した説明板を新設した。  【今後の方向性】 ・1基のみの設置にとどまったが、文化財保護を図る上では、看板の設置は急務と考えられる。
	○埋蔵文化財の保護 ・開発事業との調整協議(5件) ・試掘調査,立会い調査(1件)	【成果】 ・開発事業との調整が図られるようになり、大規模な開発に対しては、試掘調査を実施した。  【今後の方向性】 ・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護措置を適切に実施していく。
(2) 文化財管理運営事業	○史跡・文化財施設の管理状況 ①石動山 ・史跡公園, 県営能登歴史公園(石動山地区)の施設維持管理, 樹木管理, 除草作業等の実施 ・大宮坊の管理運営(利用者数2,376人) ・石動山資料館の管理運営(入館者数1,000人) ②雨の宮古墳群 ・古墳公園, グリーン広場の樹木管理及び除草作業 ・雨の宮能登王墓の館の管理運営(入館者数836人)	【成果】 ・文化財の保護を図りながら定期的に除草, 樹木管理, 公園施設の維持管理を行なった。また学校教育, 社会教育の場として活用することができた。  【今後の方向性】 ・さらに史跡の普及・啓発に努めるとともに, 展示施設の利用者増加を図るため, 特別展を実施するほか, 外部団体とも協力していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 文化財管理運営事業	<p>○文化財の活用事業</p> <p>①史跡を訪ねる集い（いすぎウォーク） 開催日 5月3日 参加人数 97人</p> <p>②雨の宮古墳まつり（勾玉づくり体験） 開催日 10月14日 参加人数 120人</p> <p>③石動山文化活性化事業（歴史文化講座） 「山岳信仰の源流をさぐる」 開催日 11月4日 参加人数 131人 報告1 坂下 博晃主事「石動山の僧坊と暮らし」 報告2 阿部 来氏「白山平泉寺の僧坊と暮らし」 講師・演題 時枝 務氏「山岳宗教遺跡と石動山」</p> <p>④出前講座（郷土学習の支援） ・歴史・文化を知ろう「中能登町の文化財について」 （9件） ・学校・団体等見学（21件）</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、講座等を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。出前講座については、年々定着が図られてきている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に事業を実施し、広く文化財に対する理解を深め、愛護の精神やふるさとに愛着を持っていただけるよう引き続き実施していく。</li> </ul>



4 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																		
(1) 学校給食	<p><b>○中能登町学校給食センター運営委員会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター運営委員会開催</li> <li>1)実施日 5月29日</li> <li>2)場 所 中能登町学校給食センター2階会議室</li> <li>3)委 員 教育長, 学校長, PTA 会長, 学校薬剤師</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の大切さを再認識することができた。</li> <li>・給食費未納世帯に対し, 自宅訪問を行う等, 収納率アップにつながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を通じて食育の充実を更に目指していきたい。</li> </ul>																		
	<p><b>○学校給食費の第2子以降無償化</b></p> <p>①学校給食費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町に住所を有し, 18歳に達する以後の3月31日までの間にある対象児童生徒を2人以上扶養している保護者へ助成する。</li> </ul> <p>②助成実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td style="text-align: center;">172人</td> <td style="text-align: center;">160人</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td style="text-align: center;">248人</td> <td style="text-align: center;">242人</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td style="text-align: center;">100人</td> <td style="text-align: center;">107人</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td style="text-align: center;">219人</td> <td style="text-align: center;">221人</td> </tr> <tr> <td>町外学校</td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	鳥屋小学校	172人	160人	鹿島小学校	248人	242人	鹿西小学校	100人	107人	中能登中学校	219人	221人	町外学校	6人	11人	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年から始まった, 第2子以降の児童生徒の給食費無償化により, 子育て世代への負担軽減に繋がった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費助成制度の周知を図り, 対象児童生徒の保護者全員が申請するよう呼びかける。</li> </ul>
		H28	H29																	
鳥屋小学校	172人	160人																		
鹿島小学校	248人	242人																		
鹿西小学校	100人	107人																		
中能登中学校	219人	221人																		
町外学校	6人	11人																		
<p><b>○学校給食費の公会計への移行業務</b></p> <p>これまで町学校給食センターで私会計方式による学校給食費の徴収管理及び食材の調達・支払いを行っていた。</p> <p>取り扱う金額が多額なことなど, 管理責任・安全管理上において課題があったため, 徴収管理及び食材の支払いについて見直しを図り, 平成30年度から町予算に計上し, 管理・運用を行う公会計方式への移行のため, 学校給食費の徴収管理システムを導入した。</p> <p>学校給食費を町会計で受け入れるため, 口座の開設, 学校給食費を明記した町口座振替依頼書の印刷製本をし, 保護者への手続きを依頼した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>学校給食費を町予算に組み入れ, 予算・決算・監査等, 町会計ルールに基づいた管理・運用ができるようになった。</p> <p>学校給食センターの取り扱い金融機関のみで行われていた納入が, 町指定金融機関・町指定取扱金融機関へ納入することになり, 保護者の利便性が向上した。</p> <p>学校給食費の未納状況による献立の調整や業者への支払い遅延の心配がなくなった。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>徴収管理システムの導入等により, 平成30年度からの公会計への移行が完了した。</p> <p>今後, 学校給食費の徴収管理及び食材費の支払い等の適正な運用を図っていく</p>																			

5 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実</p>	<p>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</p> <p>①町文化まつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 29 年 11 月 2 日 (木) ～3 日 (金)</li> <li>・会 場 ラピア鹿島、カルチャーセンター飛翔</li> <li>・作品展示 84 団体、600 人</li> <li>・入場者 約 4,000 人</li> <li>・芸能発表 41 団体、400 人出演、入場者約 500 人</li> <li>・カラオケ大会 入場者約 300 人</li> <li>・お茶席 入場者 200 人</li> <li>・講演会 入場者 200 人</li> <li>・将棋大会 参加者 30 人 カルチャーセンター飛翔和室</li> </ul> <p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆展 約 350 名 平成 29 年 8 月 5 日 (土) ～20 日 (日) 飛翔</li> <li>・自衛隊コンサート (航空自衛隊) 約 400 名 平成 29 年 9 月 9 日 (土) ラピア鹿島</li> <li>・町民文化講演会 (鏝山矩幸) 約 300 名 平成 29 年 10 月 1 日 (日) ラピア鹿島</li> <li>・落語会 422 名 平成 29 年 11 月 25 日 (土) ラピア鹿島</li> <li>・クリスマスコンサート 約 200 名 平成 29 年 12 月 23 日 (日) ラピア鹿島</li> <li>・中能登ふれあいコンサート 2018 約 400 名 平成 30 年 2 月 25 日 (日) ラピア鹿島</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は従来から行っている作品展示スペースを拡大し、多くの方に出展を依頼し、たくさんの方々に展示品をご覧になって頂いた。また、芸能発表、将棋大会、カラオケ大会も継続して行った。今回は開催日を 2 日間として充実あるまつりの内容とした関係もあり、入場者数も大幅に増えた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高齢化が進み、脱退する団体も増え始めてきた関係から、後継者の育成及び新規加入促進策を検討しなければならない。また、各団体の事業内容の見直しも行うように指導していきたい。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は 6 事業を実施し、延べ 2,072 名の方が来場した。今年度は、同時期に開催される他の事業と共同開催し、参加者数の増につながった事業があった。また、ホール機能を集約したため、ラピア鹿島が拠点となり事業を展開した。</li> <li>・各種事業についても町民の融和が図られ、文化事業の推進目的を達成した。また、ふれあいコンサートでは、近隣市町の中高生に一般グループを加え、各グループの演奏を楽しむとともに、お互いが刺激あった演奏会となった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施にあたっては、実行委員会で内容を精査し、マンネリ化にならないよう創意工夫を凝らし、多くの町民が気軽に文化・芸術にふれあえる空間づくりに努めていきたい。</li> <li>・開催日の調整を課題とするほか、他の公共事業と合同開催することで、来場者の増が見込まれる。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラピア鹿島の大規模工事を実施（2年目）</li> <li>①アイリスホール移動観覧席制御装置更新</li> <li>②アイリスホール舞台照明設備LED化改修</li> <li>③トイレ洋式化改修</li> <li>④空調機器・設備更新</li> <li>・ふるさと創修館空調設備を更新</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度は大規模工事の第2期として経年劣化が著しい設備系の更新を行った。長寿命化が図られた。省エネ対策として照明のLED化や高齢者や外国人が使用しやすいトイレの洋式化も実施した。利用者が快適に使用できる学習施設の充実が図られた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備系の更新、改修がほぼ終了。これからも利便性の高い施設としての環境整備を行っていきたい。</li> </ul>
(2) 生涯学習講座の実施	<p>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座の実施</li> <li>1) わいわいフェスタ 延べ95人</li> <li>2) 園芸講座 延べ63人</li> <li>3) 健康づくり（夏季） 延べ27人</li> <li>4) 健康づくり（冬季） 延べ98人</li> <li>5) 季節の魚をさばこう 延べ23人</li> <li>6) 手芸講座 延べ34人</li> <li>7) パステルアート（前期） 延べ16人</li> <li>8) パステルアート（後期） 延べ16人</li> <li>9) 掃除のコツ講座 延べ17人</li> <li>10) 切り絵で蓬莱作り 延べ25人</li> <li>11) ケーキづくり（前期） 未開催</li> <li>12) ケーキづくり（後期） 延べ10人</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○ふるさと学習の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の実施（6分類37講座を設定）</li> <li>1) 認知症シリーズ（長寿介護課）</li> <li>2) 高齢者の健康づくりシリーズ（保健環境課）</li> <li>3) 町の歴史を知ろう（教育文化課）</li> <li>4) 交通安全教室（総務課）</li> <li>5) これからの介護保険（長寿介護課）</li> <li>6) 消費者トラブルの対処法（企画課）</li> <li>7) 下水道施設を探検しよう（上下水道課）</li> <li>8) 夢いっぱいネバーランド（情報推進課）</li> <li>9) 生活習慣病予防シリーズ（保健環境課）</li> <li>10) みんなで介護予防（長寿介護課）</li> <li>11) 知って得する！健康診断の見方について</li> <li>12) 「消防・防災活動」（総務課）など</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度は町民のニーズにあった講座を一部開設し、楽しく学ぶことができるような講座づくりに取り組んだ。11講座、延べ28回開催。延べ424人が参加。青年層・壮年層を対象として、19時以降の講座を開催したが、参加者が少なかつたため、夜講座のニーズがあまりないことが分かった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味的講座だけでなく、地域や生活に役立つ実践的講座といったものも取り入れる必要性が感じられる。ただ、実践的講座は住民の関心が薄く、関心を高める方策が必要と思われる。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度は71回開催し、延べ1,612人が参加した。1回平均22.7名参加があった。年々利用団体が増えてきており、各種講座で大いに学ぶことができた。</li> <li>・町内会、女性会、学校など各種団体に幅広く利用された。特に各地区にある健康サロンの利用が半数以上を占めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は住民の生活に影響のある新たな制度に関する講座など、住民のニーズに対応した講座項目の見直しを検討する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 生涯学習のつどいの実施	<p>○パネルディスカッションや講演を行い、町民への周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習のつどい」の開催               <ol style="list-style-type: none"> <li>1)日 時 平成30年2月18日(日)</li> <li>2)場 所 ラビア鹿島「アイリスホール」</li> <li>3)テーマ 「いつまでも 学ぶ姿勢を 子どもたちとともに」 ～気づいたときがスタートライン～</li> <li>4)パネルディスカッション                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コーディネーター 村守 俊樹(公民館長)</li> <li>◆パネラー 福多 昌子 松永 敏明 山口 利勝 久保 広美</li> </ul> </li> <li>5)基調講演                   <ul style="list-style-type: none"> <li>◆演 題 出張! ゴルゴ塾 命の授業 in 中能登</li> <li>◆講 師 ゴルゴ 松本 氏 (お笑い芸人TIM)</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul> <p>※開会前に夢プロジェクト「標語・川柳コンクール、及び夢プロスポーツマンシップ賞」表彰式を開催した。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度はテーマを「いつまでも 学ぶ姿勢を 子どもたちとともに」と設定し、中能登町で家庭教育支援に携わっている方々のパネルディスカッションなどによる、子どもたちと学ぶ姿勢を地域住民がより高い認識・理解に導くことができた。</li> <li>・基調講演では、お笑い芸人TIMのゴルゴ松本氏をお招きした。この大会に参加した町社会教育委員はゴルゴさんの「命」など漢字を体で表現するギャグ、歴史の話など笑いを交えながら、「命」「言葉」「人生」を魂のこもった熱いお話を町民に聞かせたいとの強い要望であったため、積極的に講演依頼し、望みどおり先生の承諾が得られた。講演では笑いあり、テーマにあるように熱いゴルゴ塾の命の授業、熱い授業であった。町民一人ひとりがこれからの生活や人生に役立つ内容であった。</li> <li>・人とのつながりが広まり、お互いが学び合えた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がマンネリ化しないように、基調講演等の企画・運営を図る。</li> <li>・今後も生涯学習に役立つ内容の基調講演会や自治公民館などの事例報告等も取り入れ実施していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>○各自治公民館の活動を基盤とする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館活動への助成 (60 地区)</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <p>各種レクレーション大会、夏祭り、盆踊り、防災訓練、納涼祭、環境美化、地区行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域自治公民館振興事業 (2 地区)</li> </ul> <p>①三代交流納涼祭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 29 年 8 月 13 日 (日)</li> <li>2) 団体名 新庄区・廿九日区・在江区</li> <li>3) 参加者 500 名</li> <li>4) 内 容 旧町の区域を越えた隣接地区の住民が一堂に会し、合同納涼祭を実施した。この事業により、融和と親睦が図られた。</li> </ol> <p>②落語寄席</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 29 年 12 月 3 日 (日)</li> <li>2) 団体名 春木区・末坂区・羽坂区・今羽坂区</li> <li>3) 参加者 90 名</li> <li>4) 内 容 伝統文化合同行事の参加率も減少してきた中、この事業により融和と親睦を深めることができた。</li> </ol>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民が連帯し自主的に事業を企画、実施することにより、自治意識の高揚を図り、住民相互の連帯感を醸成し、地域の活性化の促進を図ることができた。自治公民館が複数で事業を展開することにより、各自治公民館の生涯学習全般にわたる活発な活動を促進し、当該地域が本来持つ力を再生や地域の活性化と連携強化を図ることができた。2 地区で実施したが、それぞれに事業目的どおりの成果がでた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度については、広域自治公民館振興事業の推進を図るとともに、引き続き公民館活動の充実を図る。</li> </ul>
	<p>○活動を通じさらなる連帯感を養い、地域のリーダー育成を図る</p> <p>①花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の花いっぱい運動</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 29 年 5 月 28 日 (日)</li> <li>2) 植 栽 <ul style="list-style-type: none"> <li>サルビア 2,185 鉢</li> <li>マリーゴールド 2,245 鉢</li> <li>マツバボタン 2,115 鉢</li> <li>ペコニア 2,180 鉢</li> </ul> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の花いっぱい運動</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 29 年 10 月 29 日 (日)</li> <li>2) 植 栽 <ul style="list-style-type: none"> <li>パンジー 2,096 鉢</li> <li>ビオラ 2,106 鉢</li> <li>チューリップ球根 (赤・白) 各 1,105 球</li> <li>(黄) 1,115 球</li> <li>(桃) 1,055 球</li> </ul> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇づくり写真展</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実施日 平成 29 年 8 月 22 日 (火) ~9 月 10 日 (日)</li> <li>2) 会 場 ラピア鹿島「コンコース」</li> <li>3) 展示数 63 枚 (地区 63 団体)</li> </ol>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として行っている町民手づくりによる「花いっぱい運動」だが、平成 29 年度も実施し、多くの地区で運動を展開した。</li> <li>・平成 29 年度から各地区で実施した花いっぱい運動の花壇づくりを撮影し、ラピア鹿島において写真展を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動が定着してきているが、更に町内一円の環境美化を推進するとともに、地域が自主的に季節を問わず行う運動となるように検討を進める。また、平成 30 年度においては、各花壇の写真を提供してもらい、写真展の開催や広報誌への掲載などを考えている。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>②各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町文化協会</li> </ul> <p>会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 2,750,000 円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年2回の文化だより発刊</li> <li>◆文化まつりの開催</li> <li>◆町事業への参加協賛</li> <li>◆県庁ロビーコンサートへの参加</li> <li>◆研修旅行</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町子ども会連絡協議会</li> </ul> <p>1) 町補助金 800,000 円</p> <p>2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国子ども会安全会への加入</li> <li>◆各地区育成費の助成</li> <li>◆リーダー研修会</li> <li>◆町祭りサイクルバザーの出店</li> <li>◆秋・冬各種球技大会 (グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会活動では、それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。また、平成29年度も活動発表として文化まつりの会場で発表会を開催した。団体においては1年間の実績を発表し、町民は楽しいひと時を過ごせた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会の各種団体への加入状況が減少傾向にあるため、広報誌等を活用し入会案内を行い、加入促進を図っていく。平成30年度については益々の学術技芸を磨きあげていきたいと考えている。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー研修会グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会は他の地区との交流や親睦を深めることができた。各行事において保護者の方の協力もあり、運営等スムーズに行うことができた。事業計画どおり終えることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も研修会やスポーツ大会を通し、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって子ども会活動に取り組んでいきたいと考えている。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 361,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 町内美化活動の実施</li> <li>◆ 春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆ 「中能登町実年会だより」の発行</li> <li>◆ バス視察研修 (富山方面)</li> <li>◆ 県政出前講座の開催 (マイナンバー制度について)</li> <li>◆ グランドゴルフ大会</li> <li>◆ 町長と語る会</li> <li>◆ ボウリング大会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町実年会は会員数が減少傾向にあるが役員の方の取組み、工夫により各行事において多くの参加者を集めた。</li> <li>・実年会だよりの発行により町民にどのような活動をしているか周知することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度町実年会は鳥屋地区から 7 団体、鹿西地区から 1 団体の計 8 団体であったが、平成 29 年度からは鳥屋地区の 1 団体が脱退し、計 7 団体となる。今後は加盟のない鹿島地区からの加盟が今後の会の存続に繋がってくる。また、町のために実年会として何ができるかを考え、行動していくために事業内容の見直しが必要である。</li> </ul>
	<p>・中能登町青壮年協議会 町内青壮年の親睦、交流を図り、青壮年層の活性化に資することを目的とする。</p> <p>1) 町補助金額 316,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆ 春・秋花いっぱい運動参加</li> <li>◆ 町民地区対抗ソフトボール大会</li> <li>◆ 町祭協賛事業</li> <li>◆ バス視察研修 (恋活イベント各地視察)</li> <li>◆ やじきた祭り</li> <li>◆ 男磨きレッスン</li> <li>◆ 婚活 (恋活) 事業 (夏・冬)</li> <li>◆ 町長と語る会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定住、出会いの場の創出、多くの人の交流を目的として様々な事業を行った。</li> <li>・6 月に開催した町民地区対抗ソフトボール大会では 17 地区の参加があり、多くの若者の交流の場となった。</li> <li>・恋活イベントに向けて男磨きレッスンを開催し、町の男性が自信を持ってイベントに参加できるよう努めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度からは各地区の青壮年団の代表も役員会に参加してもらうよう総会で呼びかける。各地区でそれぞれの活動をしているので町の青壮年活動には興味を示さない地区が多い。今後は各地区代表者と連絡調整し、町の活動に協力してもらうことが今後の課題になってくる。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(4) 公民館活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町女性協議会</li> <li>1) 町補助金 2,000,000 円</li> <li>2) 助成講座講師謝金一部助成 6,000 円 (各支部 1 回/年のみ助成) 29 年度実績 10 支部 平成 29 年度支部数 21 地区</li> <li>3) 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 会報 13 号発刊</li> <li>◆ 町長と語る会</li> <li>◆ 中能登地区県政会議</li> <li>◆ 議会傍聴</li> <li>◆ 議会と語る会</li> <li>◆ 交通安全マスコット配り</li> <li>◆ 女性のつどい</li> <li>◆ 敬老会お手伝い</li> <li>◆ 成人式お手伝い</li> <li>◆ リサイクルバザー</li> <li>◆ 交通安全パレード</li> <li>◆ 女性セミナー</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度においても支部数が減少しているが、協議会としての事業は充実しており、各種事業を通じて行政と連携した取り組みができた。また、いろいろな場面で協力体制がしっかりとしていることから、地域づくりやサポートに資することができた。</li> <li>・平成 29 年度に初めて、「役員・支部長懇親会」を行った。合併後も旧町単位での交流が続いていたが、絆とつながりを深めるため、全体的な会とした。</li> <li>・行事等を通して町行政に対する課題や疑問を問いかけすることができ、さらに会員同士の絆を深めることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口、世帯の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部の問題が深刻化してきている。町協議会に加盟せずに地区独自で活動している団体もあるため、平成 30 年度においても継続して加盟を働きかけ、全地区の支部設立に力を入れたい。</li> <li>・会員募集の為に、女性の輪（会報）のレイアウトを大幅に変更した。多くの方にみていただける工夫をした。また、全戸配布を行った。</li> <li>・女性の活躍は町活性化において欠かせないため、今後も支援を行ない支えて行かなければならない。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 青少年の健全育成	<p>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回補導の実施 前夜祭、町祭当日の巡回補導の実施。 期日 7月29日 時間 21:10～21:40</li> <li>夏休み期間中の巡回補導の実施。 期日 8月9日, 10日, 22日, 24日 時間 20:00～21:00</li> <li>・町駐在所、各学校代表、県警委嘱少年補導員、七尾鹿島地区高等学校PTA校外補導連絡協議会、青少年育成推進指導員、町教育委員会の協力のもと行った。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度においても各種団体の協力を得て巡回補導を行った。結果的には補導対象となった青少年はいなかった。これらの取り組みにより未然に青少年の非行を防ぐことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子どもたちの健全な成長と非行防止を願い、関係機関の地域の学校及び補導員相互の連携強化を図っていききたい。また、非行防止少年等の早期発見のための補導活動を推進していききたい。</li> </ul>
	<p>○青少年の地域での社会参加を促す</p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府、県主催の研修会、ブロック会議への参加。</li> <li>・町立学校への協力。</li> <li>・町巡回補導への協力。</li> </ul> <p>②成人式の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成30年1月7日(日)午前10時</li> <li>・場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</li> <li>・参加者 対象者180人、参加者159人</li> <li>・式 典 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)開式の辞 副町長</li> <li>2)国家斉唱(ピアノ伴奏) 新成人代表</li> <li>3)町民憲章唱和 新成人代表</li> <li>4)式辞 町長</li> <li>5)祝辞 知事(代読・教育長), 衆議院議員 県議会議員, 町議会議員</li> <li>6)記念品贈呈受領 新成人代表</li> <li>7)二十歳の誓い 新成人代表</li> <li>8)明るい選挙推進決議 新成人代表</li> <li>9)謝辞 新成人代表</li> <li>10)閉式の辞 副町長</li> </ul> </li> <li>・記念撮影(各地区)</li> <li>・実行委員会主催親睦会の開催</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進指導員が研修会に参加、また、七尾鹿島ブロック会議に参加した。ブロック会議では、事例発表や講話を聞き、活動の参考とした。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進指導員関係では、各小学校、中学校の授業や行事に参加し、青少年の支援を行っていく。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度成人式は88.3%の参加率で昨年より増加した。女性協議会や着付けボランティアの協力により円滑に進行することができた。親睦会は会費制で行い、成人者には良い思い出と社会構成員としての自覚を促すことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度成人式から、統合中学校の初めての卒業生が対象となる。実行委員会の企画にも工夫を凝らし参加者の増加につなげたい。</li> <li>・近年、保護者の観覧が増えていることから、保護者用観覧席の見直しが必要である。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 国際交流事業の推進	<p>○国際化に対応した事業推進を台湾基隆市成功国民中学校との相互交流を通し展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町国際交流の会への助成</li> <li>・台湾基隆市成功国民中学校招請事業</li> </ul> <p>成功国民中学校の生徒 33 名 (男性 17 名・女性 16 名)  引率者 7 名 (校長他) 合計 40 名  中能登中学校等を訪問し、交流会やホームステイを通じて相互交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歓迎会</li> <li>・歓迎交流会、部活動見学</li> <li>・中能登町内見学</li> <li>・ホームステイプログラム</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は招請の年であったため、中能登町において交流を深めた。台湾基隆市成功国民中学校との交流事業をとおして国際化に対応できる人づくりができて国際交流に向けた取り組みの基礎部分として活動ができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度はこれまで積み重ねてきた人脈を活用し、国際交流の発展と新たな事業取り組みが図られるよう企画していきたい。</li> </ul>
	<p>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際交流を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンテントへの共催並びに実施</li> </ul> <p>1) 受入 留学生 7 名  2) ホストファミリー 5 ファミリー  3) 中能登町交流プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆竹取り、竹細工作成、昼食 (流しそうめん等)</li> <li>◆デザインセンター、能登上布会館 (見学・体験)</li> <li>◆浴衣着付け</li> <li>◆茶道体験</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は、これまでのプログラムを変えて、「留学生とホストファミリーの交流」の場を増やした。町プログラムに、ホストファミリーにも参加してもらい、交流を深めた。</li> <li>・ホストファミリーの方達に留学生との交流をとおして、異文化に触れ、お互いに学び合う良い機会を提供できた。</li> <li>・中能登町の産業である繊維産業の関連し、デザインセンターの見学や能登上布の機織り体験を通して留学生たちに町の魅力をつたえることができた。</li> <li>・子どもたち同士やホストファミリーとの交流を通して、国際感覚を養うため、今後も更に交流を深めていきたい。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流プログラムを継続していきたい。様々な団体との連携を検討していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(6) 国際交流事業の推進</p>	<p>○日本語教室開設により、多文化共生の町づくりを推進する。</p> <p>「文化庁委託事業 地域日本語教育スタートアッププログラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町教育委員会として受託した。</li> <li>・「生活者としての外国人」が対象。</li> <li>・平成 29 年度から 3 年間、文化庁より補助及びアドバイザーの派遣を受けて日本語教室開設に向けて取り組む。</li> <li>・日本語教室が町の多文化共生の拠点となる事を目指す。</li> <li>・プレ講座の実施</li> </ul> <p>①外国人の本音トーク (外国人 9 人)  ②外国人との接し方 (外国人 6 人)  ③料理作りで日本語を学ぶ (外国人 7 人)  ④餅つき体験 (外国人 9 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査、企業ヒアリング (7 社)</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の主体団体となる、「なかのとまち日本語教室をつくろう会 (通称：NNT)」が発足した。</li> <li>・コアミーティングを月に 1 回程開催し、サポーターのネットワーク作り、及び養成につながった。</li> <li>・3 回のプレ講座と、1 回の特別講座 (町事業との共催) では、のべ 120 名が参加をした。そのうち、外国人は延べ 31 名 (うち、技能実習生は 11 名) だった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 年目となり平成 30 年度は、プレ教室の開催を検討している。</li> <li>・日本語教室開設に向けて、さらに住民への周知を行っていく。</li> <li>・諸団体や、近隣市町との連携をしていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p>○生涯学習の拠点として、町民のニーズに配慮した必要な図書、資料を収集し、町民の読書意欲を喚起する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入予算内で、より多くの図書購入ができるよう3図書館で連携し、複本がないように購入。</li> <li>・話題性の高い本は3館で購入するなど工夫している。利用者の希望の本が町内図書館で蔵書していない場合は、県内図書館や県外図書館からも借り受けることができるサービスを行っている。また、季節や旬の話題を取り入れてテーマを決め、展示コーナーを設けることにより、読書意欲を喚起している。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の希望に応じ、リクエストがあった図書はなるべく購入し、県内外図書館から借り受けることで、利用者の貸出冊数が増加となった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き利用者のニーズを把握し、利用しやすい図書館を目指し、町民の読書意欲の増進に努めていく。</li> <li>・図書館統合といった大きな課題もあり、より充実した図書館を目指し、方策を考えていく必要がある。</li> </ul>
	<p>○読書グループ、図書館ボランティアの資質向上を目指し育成支援を図る</p> <p>①図書館ボランティア養成講座（全4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 平成29年5月24日（水） 「絵本の読み聞かせ」</li> <li>・2回目 平成29年5月31日（水） 「乳幼児向け読み聞かせ」</li> <li>・3回目 平成29年6月8日（木） 「紙芝居の楽しさ」</li> <li>・4回目 平成29年6月16日（金） 「手づくり絵本」</li> </ul> <p>②公開読書会（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏 平成29年8月31日（木） 「テンと月」小池 真理子/著</li> <li>・秋 平成29年11月21日（火） 「おわりーっ」小倉 紀蔵/著 「平凡を非凡に生きる」渡辺 和子/著</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を開催することで、新規ボランティアの加入につなげることができた。参加して良かったとの声もある。</li> <li>・公開読書会 参加者（夏）19名、（秋）15名 テキストのテーマに即した図書の展示を行い、本の紹介に努めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア養成講座を生かし、図書館ボランティアの活動範囲を広げていきたい。</li> <li>・読書会会員以外の公開読書会の参加者が少ないことから、一般の利用者が参加しやすいような周知方法を考えることが必要である。</li> </ul>
	<p>○家族での読書の推進を目指し「うちどく（家読）」の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うちどく推進賞を実施 「うちどくノート」町内小学校全児童に配布し、うちどくノート提出順に学校で表彰を実施 シルバー賞、ゴールド賞は2月に学校で表彰</li> <li>1) 「うちどく賞」（1冊目達成者） （1～4年生 15冊 5～6年生 8冊）</li> <li>2) 「シルバー賞」（2冊目達成者）</li> <li>3) 「ゴールド賞」（3冊目以上達成者）</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度受賞者数 うちどく賞 498人 シルバー賞 131人 ゴールド賞 219人 前年度に比べ、うちどく賞とゴールド賞の参加者が大幅に増加した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携をとり読書の習慣化を図りたい。</li> <li>・家族でのルールを作り、家族と一緒に本についてコミュニケーションをとってもらえるよう引き続き実施していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p>○学校図書館司書と連携, 協力し学校図書館の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館担当者との連絡打合せ会の実施</li> <li>1) 実施日 平成 29 年 4 月 25 日 (火)</li> <li>2) 参加者 学校図書担当教諭、学校図書館司書、町立図書館職員</li> <li>3) 内 容 町図書館の小中学生対象事業について各校の読書指導計画についてボランティアによる朝読書についてうちどくノートについて</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館にない図書、授業で使用する図書を町立図書館や町外図書館から借りて補うことができた。</li> <li>・学期に1回ずつ学校司書連絡会に参加し、町と学校それぞれの企画や現状について共有できた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書の充実を図り、学校図書担当教諭との連携を強化し、児童生徒の学校図書館、町立図書館の利用推進を図る。</li> </ul>
	<p>○乳幼児から絵本に慣れ親しんでもらうため, 町内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に絵本を手渡し, 職員が読み聞かせ等を行うブックスタート事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業</li> <li>1) 対象児 7ヶ月の乳児 (126人)</li> <li>2) 実施日 保健センターでの7ヶ月児健診時</li> <li>3) 内 容 2冊の絵本を贈呈</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート後に図書館を訪れ、子供の図書カードの登録と絵本を借りていく親子が見受けられた。ボランティアの参加により、親子での絵本の読み聞かせの普及と図書館利用の推進に繋がっている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から図書と慣れ親しむことが大切であることから今後も引き続き事業を実施し、本の楽しさを知ってもらい、図書館利用の推進を行う。また、ボランティアの増員を図り読み聞かせの充実を図る。</li> </ul>
	<p>○3館ある図書館の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の関係上、複本がないよう図書を購入しているが、どこの図書館でもその図書を借りることができるよう予約を受け付けている。また、町内の図書館で借りたものは、借りた図書館でなくても返却できるようにしている。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の予約受付をすることで、利用者が足を運びやすい図書館で貸出しをすることができ、利用者の負担軽減となっている。</li> <li>・平日は毎日図書を運搬することで利用者に早く予約本を貸出できるよう努めている。</li> <li>・図書の貸出しだけでなく、各図書館でのおはなし会やいろいろな行事を行うことで多くの利用者(子どもからお年寄りまで)が利用しやすい場を提供できた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズにあった運営を図書館のあり方や事業について検討していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p>○学校読み聞かせボランティアの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校からの依頼により、各小中学校での朝昼読書タイムに読み聞かせボランティア（約20人）が月1回読み聞かせを行った。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを行うことで、児童生徒の読書への関心が高められた。</li> <li>図書館職員も読み聞かせに参加し、自ら経験を積んでいる。同時に図書館のPRも行っている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせは、心のケアにもつながる利点があるため、新規ボランティアを募り、事業を継続する。</li> </ul>
	<p>○図書館講座や行事を実施</p> <p>（一般向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本講座</li> <li>文学講座</li> <li>図書館まつり</li> </ul> <p>（児童向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館講座</li> <li>絵本の中の料理教室</li> <li>子ども映画上映会</li> <li>クリスマスおはなし会</li> <li>ぬいぐるみおとまり会</li> <li>ミニおはなし会</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座や行事を行うことで、図書への関心が高められた。また、図書館利用の向上にもつながった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書との関わりを広く持ってもらえるよう、今後もさまざまな講座や行事を推進していく。</li> <li>参加者が増加するよう広報やPRに努める。</li> </ul>
	<p>○おはなし会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会ボランティアによるおはなし会を各図書館にて定期的実施</li> <li>「鳥屋図書館」ピノキオ（第1土曜日）</li> <li>「鹿島図書館」のんたん（第4土曜日）</li> <li>「鹿西図書館」ボランティアーズ（第2土曜日）</li> <li>ミニおはなし会（毎週木曜日）</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会を行うことで児童の絵本への関心、地域の方が実施することで、地域とのふれあいの場に繋がった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、おはなし会を継続実施し、児童に図書への関心を深めてもらいたい。</li> </ul>

6 生涯スポーツの振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) ジュニアスポーツクラブの充実</p>	<p>○スポーツ少年団, ジュニアスポーツクラブの活動を支援し, 子どもたちの心身を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアスポーツ教室の開催</li> </ul> <p>22 教室を実施し, 各教室年間 50 日から 300 日の活動を行った。各教室には育成費や大会派遣費を補助し, その活動を支援している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西剣道教室</li> <li>2) 鹿島少年剣道教室</li> <li>3) 中能登柔道教室</li> <li>4) 中能登町少林寺拳法クラブ</li> <li>5) とりやアスリート倶楽部</li> <li>6) 中能登ジュニア体操クラブ</li> <li>7) 鹿西サッカースポーツ少年団</li> <li>8) かしま F C</li> <li>9) 中能登ジュニアトランポリンクラブ</li> <li>10) 中能登フェニックス (ミニバスケ男子)</li> <li>11) 中能登ミニバスケットボールクラブ (女子)</li> <li>12) 中能登学童野球クラブ</li> <li>13) 鹿西卓球スポーツ少年団</li> <li>14) とりやソフトテニスクラブ</li> <li>15) 鳥屋バドミントクラブ</li> <li>16) バドミントクラブかしま</li> <li>17) バレーボール女子</li> <li>18) 極真 中能登カラテ</li> <li>19) 中能登ドリームズ (ミニバレー女子)</li> <li>20) なかのと織姫ソフトボールクラブ</li> <li>21) ジュニア空手道教室</li> <li>22) 武道教室 山口道場</li> </ol>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体とも引き続き熱心に活動し, 活動日数を増やしたクラブもみられる。</li> <li>・熱の入った指導のもと, 中には全国大会に出場している教室も多くみられる。</li> <li>・同一種目で複数クラブが統合するなどの少子化の影響も出ている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総児童数に対する加入率は 49.8% となり, 昨年度より約 0.9% 減少している。夢プロジェクトとの連携や大家族型スポーツ事業などの成果が見え始め, 今後も多くの児童に加入を勧めていきたい。</li> </ul>
	<p>○ジュニアスポーツクラブ指導者育成派遣を行い, 指導者の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者としての資質向上のため, 資格取得や各種講習会への参加について派遣補助を行う。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が資格を取ることにより, 指導力の向上及び競技会への出場が可能となった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも多くの指導者養成のため, 講習会等への受講を幅広く呼び掛けていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 地域スポーツの振興	<p><b>○体育協会やスポーツ推進委員との連携を図り、地域スポーツの推進を図る</b></p> <p>①体育協会は 23 競技団体を指導及び各種の補助をし、ジュニアから一般世代までの競技力向上を目指している。特に町民大会の開催については、大会開催費を補助し、大会運営に大きく寄与している。また、県民体育大会では各競技団体及び出場種目選手に手厚い補助をし、競技力向上及び町の知名度アップに尽力している。</p> <p>②スポーツ推進委員会は 15 名で組織され、各小学校の PTCA 活動やスポーツ活動、町スポレク祭(カローリング体験会)の企画運営、北陸地区、県、中能登地区の研修会に参加し、その技量のアップに尽力し、町及び地域のスポーツの推進に尽力している。また、町委員会での研修会も企画し、スポーツ推進委員としての資質向上に努めている。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は各競技の指導強化により、ジュニアにおいては 42 人を全国大会に選手派遣し、一般競技においても延べ 31 人の全国大会出場選手を輩出した。</li> <li>・高校総体、国体出場選手には懸垂幕を掲揚し、選手の健闘を讃えた。</li> <li>・PTCA*<sup>1</sup> 活動では、ドッジビーやキンボール等のニュースポーツの普及に尽力した。</li> <li>・町スポレク祭ではカローリングを行い、新たなニュースポーツを紹介、普及を行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会においては、一層の競技力向上を目指し、チャンピオンスポーツとして更なる好成績を目指すべく、選手育成に尽力する。</li> </ul>
	<p><b>○スポーツレクリエーション祭の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員が企画運営するカローリングをメインに町民ソフトボール、町民グラウンドゴルフなどの各種大会、テニス、ソフトテニス、バウンドテニス、バク転教室、トランポリンの体験会を実施した。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町では馴染みの少なかったカローリングを紹介することで、新たなニュースポーツを体験することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員会には、今後も多くの方にカローリングを紹介し、体験してもらいたい。</li> </ul>
	<p><b>○県民体育大会への参加競技の拡大を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーリング、セーリング、フィールド射撃、綱引きなど近年参加競技が増えたが、なぎなた等の参加したことのある競技の再出場に向け選手発掘を実施する。また、新たに銃剣道競技、山岳競技が参加となり、より一層の参加拡大を図りたい。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの選手の参加によりスポーツ振興賞を受賞している。また、総合順位においても同規模の市町と比べると健闘している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる参加競技拡大のため、かつて出場できた競技の選手発掘に努め、各競技団体に呼び掛ける。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p><b>○スポーツ施設の統廃合</b></p> <p>①平成 24 年度 テニスコート解体 (二宮あおぼ台)</p> <p>②平成 25 年度 鹿島水泳プール解体 鳥屋体育館解体 鳥屋武道館弓道場解体 基石が峰マレットゴルフ場解体</p> <p>③平成 26 年度 鳥屋相撲場解体</p> <p>④平成 27 年度 勵志館解体</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで統廃合を実施してきた関係により、施設の維持管理が軽減できた。このことにより、集約された施設の整備及び充実が図られ、利用者に対するサービスが向上できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設建築から約 35 年から 40 年経過し、修繕に係る費用が増大している。安全に利用できるように計画的な修繕が必要である。</li> <li>・将来を見据えた公共施設活用指針の策定を行い、施設利用の位置づけ、多機能複合化でサービスの向上を目指し、施設の適正な維持管理を行う。</li> <li>・施設の利用者に維持管理費の一部負担を義務付ける料金改定を実施し、適正な施設運営管理を行う。</li> <li>・利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕に対応し、管理施設の縮減が利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。</li> <li>・公共施設が主たる目的以外にも活用できる生活環境整備にも取り組む。</li> </ul>
	<p><b>○スポーツ施設の二次的活用</b></p> <p>①災害時の避難所対応に備え、鹿島体育センターに太陽光発電施設を整備した。</p>	
	<p><b>○施設の耐震化及び大規模改修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島体育センター大規模改修工事 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 建築躯体の耐震化の向上</li> <li>2) アリーナの音響改善</li> <li>3) 照明器具の LED 化</li> <li>4) 衛生設備の改善</li> <li>5) 多機能設備の充実 (多目的トイレなど)</li> <li>6) トレーニング器具の充実</li> <li>7) 防災設備の充実 (自家発電)</li> </ol> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は、老朽化したスポーツ施設の設備関係更新等を行ったことで体育施設の充実を図ることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の統廃合を考慮した上で、設備等更新の優先順位を実施していく。</li> <li>・利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕が課題である。</li> <li>・事業の縮小は、設備の充実に相反し利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 指導者の養成と選手の育成	<p>○体育協会と連携し、指導者の指導力向上及び選手の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質向上、選手の育成</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は、全競技団体に対し指導者育成に努めるよう指導した。また、行政としては指導者研修を開催し、育成強化に向けた支援を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全競技において若い世代の指導者の養成が必要である。今後も継続して指導力向上に向けた取り組みや育成強化に努めていくよう指導していく。</li> </ul>
	<p>○全国大会等に出場する選手の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジュニア全国大会 (10 大会 延 49 人出場)</li> <li>②全国高校総体 (18 人出場)</li> <li>③国民体育大会 (6 人出場)</li> <li>④その他高校生の全国大会 (1 大会 2 人出場)</li> <li>⑤一般全国大会 (3 大会 延 15 人出場)</li> <li>⑥国際大会出場 (1 人出場)</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度は昨年度より全国大会出場者が増加した。</li> <li>・他市町に比べ優遇された補助金制度により、選手の負担を軽減できた。</li> <li>・国際大会出場者が上位入賞できた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会等出場には交通費、宿泊費、栄養費など多額の費用が必要なため、町からの補助金は引き続き継続する。</li> </ul>

## II 教育委員の主な活動

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 29 年 4 月	異動教職員辞令伝達式 小中学校入学式 鹿西高等学校入学式 石川縣市町教委連第 1 回理事会 石川縣市町教育長会議 夢プロ実行委員会	ラピア鹿島【5 名】 小学校 3 校, 中学校 1 校【5 名】 鹿西高等学校【教育長】 金沢市庁舎【教育長】 KKR ホテル金沢【教育長】 ラピア鹿島【5 名】
5 月	石川県教育委員会連合会定期総会 第 1 回教育委員代表者会議 町立小学校運動会 町 PTA 連合会定期総会 七鹿中学校陸上競技大会 全国町村教育長会総会・研究大会	金沢市教育プラザ富樫【5 名】 同 上【教育長職務代理者】 小学校 3 校【5 名】 ラピア鹿島【教育長】 七尾市城山陸上競技場【5 名】 東京都【教育長】
6 月	石川県町教育長研修会 小中学校 A 訪問	能都町【教育長】 各小中学校【5 名】
7 月	石川縣市町教委連第 2 回理事会 県中学校体育大会応援 町立小学校音楽会 小学校水泳交歓会	金沢市庁舎【教育長】 県内各会場【5 名】 ラピア鹿島【5 名】 鳥屋学園プール【教育長】
8 月	県市町教育委員会セミナー 町戦没者慰霊式 石川県民体育大会応援 東海北陸地区町村教育長研究協議会 学校経営研修会 町 PTA 連合会と教育委員会との懇談会	KKR ホテル金沢【5 名】 ラピア鹿島【5 名】 各会場【5 名】 福井市【教育長】 ラピア鹿島【5 名】 中能登中学校【5 名】
9 月	第 2 回教育委員代表者会議 町立小学校器械運動交歓会 町教育委員視察研修	KKR ホテル金沢【教育長職務代理者】 鳥屋小学校【教育長】 かほく市・福井県【5 名】
10 月	いしかわ道徳教育推進事業研究発表 町 PTA 連合会研究大会 学びの組織的実践教育推進事業研究発表 外国語教育実践推進事業発表 石川縣市町教育委員会連合会研究大会 中能登中学校学校祭	鹿西小学校【5 名】 ラピア鹿島【教育長】 鹿島小学校【5 名】 鳥屋小学校【5 名】 内灘町【5 名】 中能登中学校【5 名】
11 月	紀宝町教育委員会交流 石川縣市町教委連第 3 回理事会 石川縣市町教育長会教育長研修会 能動的学習推進事業研究発表	鳥屋小, 中能登中【教育長】 KKR ホテル金沢【教育長】 KKR ホテル金沢【教育長】 中能登中【5 名】
12 月	総合教育会議 中能登町こども議会	鳥屋庁舎【5 名】 鳥屋庁舎【5 名】

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 30 年 1 月	中能登町成人式 草加市教育委員会視察	ラピア鹿島【5名】 草加市【教育長】
2 月	中能登中学校立志式 生涯学習のつどい	ラピア鹿島【5名】 ラピア鹿島【5名】
3 月	夢プロ実行委員会 鹿西高等学校卒業式 町立中能登中学校卒業証書授与式 町立小学校卒業証書授与式	ラピア鹿島【5名】 鹿西高等学校【教育長】 中能登中学校【5名】 小学校 5 校【5名】
通年	中能登町議会定例会議, 随時会議及び各常任委員会 その他関係方面からの会議, 行事出席依頼による参加	中能登町議会議場及び会議室 【教育長、教育委員】

Ⅲ 平成29年度決算（教育委員会）の概要

1 目的別内訳

（単位：千円）

区 分	平成29年度		平成28年度		増 減 額 A-B	増 減 率
	決算額 A	構成比 %	決算額 B	構成比 %		
教 育 総 務 費	261,166	20.02	176,041	13.49	85,125	0.48
小 学 校 費	301,000	23.07	486,486	37.29	▲ 185,486	▲ 0.38
中 学 校 費	62,255	4.77	82,290	6.31	▲ 20,035	▲ 0.24
社 会 教 育 費	423,318	32.45	283,288	21.72	140,030	0.49
保 健 体 育 費	256,768	19.68	246,620	18.91	10,148	0.04
うち体育施設費等	135,141	10.36	127,861	9.80	7,280	0.06
うち学校給食費	121,627	9.32	118,759	9.10	2,868	0.02
計	1,304,507	100.00	1,274,725	97.72	29,782	0.02

## ※注釈

- ※1 PDCAサイクル、次の4段階の頭文字をつなげたもので、これを繰り返し、サイクルさせることによって継続的に実務を改善しようとする考え方。
1. Plan (計画)：従来の実績や将来の予測などをもとに業務計画の作成
  2. Do (実施、実行)：計画に沿って業務を遂行
  3. Check (点検、評価)：業務の遂行が計画に沿っているかどうかの確認、評価
  4. Action (処置、改善)：計画に沿って遂行されていない部分の処置、改善
- ※2 アクティブ・ラーニング、教員が講義形式で一方向的に教えるのではなく、児童生徒学生たちが主体的に仲間と協力しながら課題を解決するような指導・学習方法の総称。
- ※3 ICT、Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略称、日本では既に一般的となったIT (情報技術) の概念をさらに一歩進め、ITに通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。国際的にはICTという呼称の方が一般的。
- ※4 ALT、Assistant Language Teacher (アシスタント・ランゲージ・ティーチャー) の略称、英語教科において日本人の教員を補佐し、生きた英語を児童生徒学生に伝える英語を母国語とする外国人の教員を指す。
- ※5 GTEC、Global Test of English Communication (グローバル・テスト・オブ・イングリッシュ・コミュニケーション) の略称、ベネッセコーポレーションが主催している、グローバル人材に必要な英語力を測定する検定試験です。
- ※6 届けよう服のチカラプロジェクト、実用衣料品を生産販売している㈱ユニクロが展開している、子どもたちが主体となって着なくなった服を回収し、難民など世界中で服を本当に必要としている子どもたちに届ける活動。
- ※7 いしかわS&Pサポート制度、いしかわSchool & Policeサポート制度が正式名称。石川県教育委員会と石川県警察本部が、青少年の非行問題が多様化、深刻化している状況を踏まえ、石川県内における児童生徒の非行及び犯罪被害の防止と健全育成対策を強力に推進するため、相互の連携を図る制度。
- ※8 e-ネットキャラバン、総務省・文部科学省が、インターネットの安心・安全な利用のために保護者・教職員向け、小・中・高校生向けに啓発している手引き。全国規模で講師を派遣する出前講座を行っている。
- ※9 SSW、School Social Worker (スクール・ソーシャル・ワーカー) の略称、非行、登校拒否などの問題に直面する児童生徒たちを学校と家庭とのパイプ役となって支援する専門家。
- ※10 Jアラート、ミサイル発射や津波、地震などの緊急情報を日本政府が発すると人工衛星や地上回線を通じて全国の市町村の防災行政無線を自動的に起動し、屋外スピーカーや屋内受信機、メールで知らせるシステム。
- ※11 PTCA、Parent (親) Teacher (先生) Community (地域) Association (会) の略称、PTAに地域住民が加わった「親と教師と地域住民の会」。地域住民が、学校教育に外側からの支援をするだけではなく、地域の子どもたちは地域で育てるという「共育」の気持ちを大切にします。学校・家庭・地域社会の三者が、子どもの教育について緊密に連携した組織がPTCAです。

## 平成 29 年度 中能登町教育委員会の「教育に関する事務の 管理及び執行状況の点検及び評価報告書」について

金沢大学地域連携推進センター  
教授 浅野 秀重

### はじめに

平成 29 年度は、平成 31 年度までの 4 年間の中能登町教育施策の展開を定めた「中能登町教育大綱」に基づく教育行政推進の 2 年目です。あえて例えれば、起承転結の「承」にあたる年度といっても良いのかもしれませんが。「ふるさとに愛着と誇りをもち、将来を夢みて未来を切り拓く中能登っ子を育てる」ことを基本理念に掲げた「学校教育振興ビジョン」そして「霊峰石動山と古墳つらなる眉丈山の麓まほろばの地に抱かれ、ふるさと愛を持ち、健康で心豊かな文化の香り高い町を目指す」ことを理念とした「社会教育振興ビジョン」という二つのビジョンの一体的推進による具現化を一層推進する年度とすることができます。

### 1 学校教育

#### (1) 確かな学力を育む教育の推進

学びの組織的実践推進事業を町内の全小中学校で分業・共有・PDCA サイクルの確立を通しての確かな学力の育成、アクティブラーニングの手法さらに ICT 機器の活用を通じた中能登中学校における能動的学習推進事業の最終年度ということであり、教職員集団の教育実践能力の向上や児童生徒の学力の確かな向上に一定の成果があったとのことは、何よりのことと思います。引き続いての高みを目指した取り組みを期待いたします。

併せて取り組まれている鹿島小学校の理科教育設備の整備による「観察」・実験活動も単に「見る」だけではなくしっかり「観る」活動を目指したものであり、今後とも質の高い理科教育の推進を期待いたします。昨年度も述べましたが PDCA サイクルについては、評者は、とくに C (Check) と A (Action) を重視していただきたいという思いです。

小学校における外国語活動の充実に資するための ALT の雇用条件の拡充、英語専科教員の人的配置構想、外国語指導領域における小中連携、平成 32 年度を目指した研修会の開催など、小学校の「英語」の教科化に「備え」から、「攻め」的な意欲的施策の推進は注目したいところです。

全国的にも上位として報じられる本県の小・中学生の学力ですが、町の学力調査等による必要な学力の水準の把握を図ることは意義あるものと思われま。学力向上の取

り組みが児童生徒そして教職員の皆さんの加重的負担にならないことを前提に、まち学力テストの結果の分析による成果を指導の改善に役立てる努力とともに、未来に生きる「学力」の形成、定着に向けさらにご努力賜りたいと思います。

## (2) ふるさと学習の推進

児童生徒が、土曜授業や総合の時間などにおいて、町内の史跡や歴史文化遺産の見学やふるさと検定に臨んだりする活動は、ふるさと「中能登」に対する思いを育てる上で効果的なものだと思います。作成した副教材「わたしたちの中能登町」の学校現場での効果的かつ積極的な利活用が、「中能登町子どもふるさと検定」の合格率のかなりの高さに反映しているのではないのでしょうか。

## (3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実

この活動に関する事業として、児童会・生徒会活動、心に響く学校行事や体験・ボランティア活動、いじめ・不登校指導、携帯・スマホ対応、さらに道徳教育の充実などの事業があげられています。

「自分たちの力で自分たちの学校を創ろう」という児童生徒の主体的な行動が見られるようになってきたこと、さらに中能登中スタイル「学びの約束」4か条の定着傾向は、歓迎されることであり、町内の小学校との連携を図りながら、さらなる深化を目指していただきたいものです。

学校教育の場においても、生命(いのち)や平和さらに一人ひとりの人間の尊厳を理解し互いに支え合うことの大切さを学ぶ機会の設定は大切です。地域の様々なステークホルダー(関係者)たる各種団体、機関、個人事業主の皆さんなどと協力・協働しながら今後とも時宜をとらえた配慮を期待いたします。

「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」授業を中心としながら、学校教育におけるあらゆる場面や機会において、豊かな人間性や社会性を育むという思いを教職員が抱きながら日々の教育活動が推進されること、さらに、地域の協力による「わく・ワーク」体験などによる教育活動の推進は、必ずや児童・生徒に豊かな人間性や社会性を育む結果をもたらすものと思います。評者は、児童生徒の道徳性の形成と学力とは不可分の関係にあると考えるひとりですが、今後とも積極的な推進を期待いたします。

なお、児童・生徒が、学校へ登校できない、学校生活になじめない、「いじめ」にあう、「いじめ」をする側になる、非行活動をしてしまうなどの課題を抱えてしまわないよう常に温かいまなざしを向けながら取り組むことは、大人の大切な役割です。また、ネットトラブルに巻き込まれることのないような「情報リテラシー」能力の形成に資する機会の充実にも心配りされることを期待いたします。ご承知のことかと存じますが、「いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会」(事務局:総務省北陸総合通信局内)では、ICTに関する研



修や講座の講師を派遣する活動等も行っていますので、機会あれば活用いただきたいものです。

キャリア形成の推進のための「中能登しごと館」の開催は、生徒が将来の進路を考えたり、地域社会における様々な人や企業等の営みを知る上でも意義あるものと思います。

初めての開催となる「中能登町子ども議会」も、町議会の理解と協力によるものと思いますが生徒の目から見たまちの課題や良さを把握する機会でもあります。実現可能な提案には、担当課で事業化や予算化を図るなど、町政への関心を高め、生徒の社会参画意欲を高める契機になるものと思います。今後の方向性にも示されておりますが、小学生の参加についても検討をお願いいたします。

#### (4) スポーツの振興

中学校体育連盟が主催する大会に対しても、さらにこれに準ずる大会に対しても10割補助の実現は、賛意を表すものです。各種大会への参加は、児童・生徒のスポーツ活動の日頃の練習の成果を発揮する機会であるとともに、併せて「母校」や「中能登町」を発信する機会となるものです。参加費や交通費補助等による大会への参加や開催に向けた支援やコーチ派遣事業は、選手層の拡がりやスポーツの普及・振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取組を期待いたします。なお、制度の拡充に向けた配慮を心から歓迎いたします。

#### (5) 安全安心な学校づくり

児童・生徒及び教職員が学習と教育の活動を展開する館（やかた）たる学校の教育環境の整備は、行政に求められる「教育条件整備」の重要な施策の一つです。学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、ましてや、通常備えるべき安全性を欠いた状態たる「瑕疵」があってはなりません。

学校施設などの教育環境は、主として児童・生徒のための教育空間、安心安全な空間、教職員にとっての「教育という崇高な使命を実際的に果たす」空間でなければなりません。さらに、地域の災害等の非常時には、地域住民のための「避難所」、「生活の拠点」となる場合があることから、空調整備、多目的トイレ等の整備に可能な限り取組まれるよう期待するとともに、施設の経年変化による老朽化に対しても計画的に対応してくださるようお願いしています。

なお、ついでながら、こうした校舎等の物的環境整備だけではなく、防災訓練、避難訓練、防犯教室の開催などは、急迫不正の事態に備える重要な体験的学びの機会であり、危機管理マニュアルの整備・見直しを含む防災・減災に資する対策は「待った無し」であるとともに、発災の予測も困難であることに鑑み、日常的な意識形成への取組を

期待いたします。

中能登町の交通安全を推進する観点からヘルメット購入全額補助、通学路点検見守り隊、夜間巡視などの取組は今後とも大いに奨励されるべきであります。特に、通学路に面したプール囲繞ブロック塀の倒壊による女子児童の死亡事故が報じられていましたが、通学路も、児童・生徒にとってもセーフティロードであるよう日常的な点検に努めたいものです。児童・生徒が登下校時に「ヒヤリとしたこと、ハッとしたこと」などの生の声を直接聴取する機会を設け、対策に活かす取組などはいかがでしょうか。

#### (6) 特別支援教育の充実

特別支援教育は、発達障がいや多動性障がいなど学習や行動面で特別な支援を必要とする児童・生徒だけではなく、必ずしも支援を必要としない児童・生徒に対しても、教育効果をもたらすものと思われまます。特別支援教育支援員の配置や力量向上、より高みを目指した資質向上の研修機会の設定など、今後とも取り組んでいただきたく存じます。また、就学相談だけではなく教育相談への対応にも取り組まれるとともに、保育園と小・中学校の連携をさらに図っていく姿勢も歓迎すべきものと思われまます。

#### (7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組

教育行政を担う教育委員会の委員の皆様が、所管する学校の子ども・教職員、学校施設の状況を計画的に訪問することは、「子どもたちの学校での『今』」、「先生方の教育実践の『今』」を見ることであり、教育委員の学校訪問を単なる一過性の行事としてではなく、かつ現場教職員に不必要な緊張をもたらすことのないような形態で率直に意見交換できる機会の設定、教育委員としての資質向上に資する研修機会の充実に努められまますよう期待いたします。

なお、巷間、教員の多忙化が指摘され、教職員の「働き方改革」も焦眉の課題でもあり、これに係る「改善」についても、ご検討を期待いたします。

総合教育会議についても、町長さんを含め、首長部局と教育委員会部局との教育施策に係る相互の意見交換・協議の機会でもあることから、今後とも重視いただきたいと思います。

#### (8) 学校と家庭と地域の連携強化

学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに「連携」「協働」し合うことによって事業を推進するという、いわゆる「学社連携」は、大いに推進されるべき事項と思われまます。

中能登町におけるケーブルテレビや町広報を通じての各学校の行事や活動を地域の方々へ情報提供する取組は今後とも拡充を期待いたします。

ここ数年にわたって指摘させていただいている、地方教育行政法第47条の5が規定している「学校運営協議会」(いわゆる、「コミュニティ・スクール事業」)についてではありませんが、この事業は、「学校・地域・家庭の連携」の象徴的な事業です。さらには「地域学校協働活動」の取り組みも文部科学省は奨励しています。中能登町教育委員会においてどの程度検討が進められているかは寡聞にして知りませんが、これについての記述もこのたびの点検・評価報告書にはありませんでしたが、検討の状況を記していただけると幸いです。また、この項目は、社会教育・生涯学習の領域に記載するのが適当かもしれません。

#### (9) 中能登らしい学校教育の推進

町立学校通学区域規則の一部改正による区域外通学の弾力的な運用により児童生徒及びその保護者のニーズに応える施策は、今後とも推進されますことを期待いたします。

児童環境学習活動発表会への参加などによる環境学習は、地域を巻き込んだ活動へと広がったとの成果が記されておりますが、「町文化まつり」や「生涯学習のつどい」などの場で発表し子どもたちの学びの成果を住民の皆さんと共有してはいかがでしょうか。

#### (10) 夢プロジェクト事業

平成 22 年度から3期10か年に及ぶこの「夢プロジェクト事業」、平成29年度は、第Ⅲ期のスタート年にあたります。第Ⅲ期は、心のふるさととなる教育活動を展開する、学びを核とした町づくりを推進する、が目標として掲げられています。設置された6つの部会ごとに様々な取り組みが推進されておりますが、各部会間の有機的な連携を図りながら、「教育の町 中能登」のさらなる充実発展に向けてその成果が見事に収斂されるよう期待します。

#### (11) 学校 ICT 機器整備事業

学校における ICT 事業の推進に向けたノートパソコン、タブレットパソコン、サーバー等の更新や整備、ICT 支援員の配置等による授業環境の充実・拡充は、大事な取組と思います。指導者も児童生徒もこれらを積極的に利活用していただきたいものです。

なお、AI 技術の発達に伴う超スマート社会 (Society 5. 0) の到来を前提とした「情報リテラシー」能力の形成、学びの在り方の変革、求められる人材像などに係る取り組みについても引き続きの尽力を期待いたします。

## 2 学校施設・設備の整備充実

### (1)小学校整備事業

平成 29 年度は、町内 3 小学校のうち、鳥屋小学校及び鹿西小学校の主として外壁改修工事が実施され、平成 30 年度は、安心・安全な施設充実に向け「防犯カメラ」を設置する予定とのことを評者としても歓迎いたします。

学校は、児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び、生活の場」としての「公の施設」であり、これら学校施設・設備の建設・整備も、児童・生徒の最善の利益を前提にして行われたものと思われます。

(5)の安心・安全な学校づくりの項目において述べたことでもありますが、学校施設は、地域の災害等の非常時には、一定期間の「避難所」、「生活の拠点」となる場合もあり、今後とも整備・拡充にご尽力賜りたいと思います。

## 3 文化財

### (1)文化財保護事業及び(2)文化財管理運営

町、そして全町民の共有の財産でもある指定・登録文化財や、伝統文化・芸能の伝承、石動山の自然環境、雨の宮古墳群などは、町にとっての「良きもの」「貴重なもの」「町の持てるもの」「地域における動かざる価値」そして、「後世に継承すべきもの」であり、それらの保護・保全・継承・活用・広報・発信等によりいっそう努められることを期待します。

特に、町内に歴史的な建造物が現存していることから、地域の方々の理解・協力を得ながら重要伝統的建造物群保存地区の整備に向けた施策を今後とも地道に推進されますことを心から願うものです。

言うまでもなく、史跡を訪ねる集いや歴史講演会、文化財に係る出前講座、文化財の説明板の設置などは、古に生きた人類の活動や生きる術に思いを馳せながら、文化や暮らし、工夫の様子などの変遷を考える機会を提供する場となっています。全町民の共有の財産でもある町文化財の理解に資する事業です。それらの保護保全・継承・活用・広報等に努め、広く文化財に対する啓発を引き続き尽力されることを期待します。

すでに実施されている事業内容のさらなる充実を願うとともに、併せて地域の歴史的、文化的、学術的「財産」を様々な方法で発信してくださることを期待します。

## 4 学校給食

今後とも児童生徒のより良い食習慣の形成に寄与する学校給食のあり方や改善の方向などを探っていただくとともに、給食資材における地元産品目の使用割合の増はふるさと学習の一環でもあると思いますので、この点についてもご配慮いただければ、と思います。

なお、給食費に係る徴収管理や食材の調達・支払いに係る会計用務の見直しは、時宜に叶う極めて適切な運用と思います。

## 5 生涯学習の振興

### (1)生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実

中能登町における文化活動の拠点たるラピア鹿島及びカルチャーセンター飛翔を中心に実施される町文化まつりや文化推進事業は、町民の豊かな感性を育て、活動する喜びを実感させ、さらなる活動へと動機づける励みの機会となるものです。長きにわたって自己研鑽に励んできた成果や経験を活かす場を提供することにもなりますし、関わっておられる方々の生きがいくくりにもなっているものであり、ひいては町民の皆さんの「エイジレスライフ」の実践へと誘う事業と化しつつあるように思います。

11月初めの2日間に及ぶ町文化まつりの開催は、作品展示スペースの拡大等を奏し入場者数の増となるとともに、各種文化推進事業も、町民の皆さんのつながりを強め、融和を図る上で効果的であった様子をうかがい知ることができます。マンネリ化とならぬよう、実行委員会で内容を精査し、創意工夫を凝らした事業へと発展させていきたい、町の他の公的事業と共同開催をもめざしたい、との思いであるとのことですが、その方向で文化芸術活動の一層の推進を期待いたします。

活動団体・参加団体構成員の高齢化などに伴う後継者の育成、基礎的な文化団体の離脱など新たな検討課題も表面化しつつある状況かもしれませんが、「文化活動」が高齢者だけのものではなく、町民全世代に関わる大事な活動であることについての共通認識を確かなものとするような仕掛け、検討が求められているような思いがいたします。

文化は、地道な活動の継続により花開くという側面を持っていることから、町の文化芸術関係団体や組織への支援は、当該組織・団体の活動基盤の強化や市民の間に文化的雰囲気醸し出していることは紛れのないことでもありますので、引き続きの予算措置や活動助言等を願っています。

特に評価欄には記されておりませんが、各協会や構成団体の担い手の高齢化や後継者不足にいかに対応するかなどの課題がおありかと存じますが、団体がもっている魅力、「良さ(有るもの)探し」をしながら、地道に着実な活動を推進して少しでも活動の裾野が広がるよう願っています。

### (2)生涯学習講座の実施

住民のニーズを把握し、学習の場を提供することを目指した「生涯学習講座」は、今後の方向性に記されているように趣味的講座だけではなく、地域や生活に役立つ実践的な講座、さらに言えば、地域社会の担い手たる「人づくり」とそれこそ教育の町中能登の具現化に向けた「地域づくり」と地域住民の「つながりづくり」に資する学びの機会

の創出に努められることを期待します。

ついでながら、文部科学省は、「地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき地域課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる「学び」の機会として「地域課題解決型学習」への取組を奨励しています。地域課題は、一朝一夕に解決するものではないでしょうが、この取組は、いわば「地」縁コミュニティづくりから「知」縁コミュニティづくりの推進をめざしませんか、ということとして評者はとらえています。

他方、ふるさと学習の充実を図ることを狙いとして町の各課供出型の6分類 37 講座の「出前講座」も、単に行政施策についての説明だけではなく、「考える町民育て」「学んだ成果を生かせる町民育て」となるような事業、言い換えれば行政との協働意識の形成となる講座へとさらに深化する方向をめざしていただきたく存じます。平成 30 年度は、住民のニーズに対応した講座項目の見直しに着手したいとのことであり、その成果が少しでも表出されるといいですね。

### (3)生涯学習のつどいの実施

町社会教育委員が主体となって企画・運営する「生涯学習のつどい」は、地域住民が互いに「学びあえる」機会を提供することを目的とした事業です。29 年度のテーマに垣間見ることができるよう、町民の皆さんの中に学びへの「自求的意識」を育てる取組であると評しても良い事業であると思います。これまでの取組を拡充しながら、地方創生、地域づくり・まちづくりの視点を加味し、「まちのために住民である私たちに何ができるか」をテーマに置きながらさらに充実した企画・運営に努めてくださることを期待いたします。

また「つどい」への個人としての又は団体としての参加や関与を通じて、多くの町民の絆や団体間のつながりを深める意義ある契機となるとともに、町民の皆さん一人ひとりが、「学び」「自分」「町」それぞれと、いかに向き合うべきかを考える機会となるよう願っています。

### (4)公民館活動の充実

地域コミュニティを構成する住民の「絆」「つながり」の希薄化が各種の調査等で指摘される中、きめの細かい公民館活動は、町民の地域への帰属意識を育てる上でないがしろにはできません。国の第3期教育振興基本計画の中で、基本方針の3で「生涯学び、活躍できる環境を整える」を柱に、「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」を掲げており、住民の地道な学習が、地域づくりやまちづくり、いきがづくりにつながる可能性を持っているように、評者には思われます。

公民館は、地域住民に対し学びの機会を提供するとともに住民の学びの成果を活か

す舞台を提供する地域コミュニティの施設であり、地域づくり・まちづくり、ひいては地域創生に寄与する施設でもあります。地域住民が「集い」そこで「学び合い」そして住民が「つながり合う」「結び合う」役割が期待されています。

そういう意味において、町内 60 地区の自治公民館への助成、2地区での「広域自治公民館振興事業」の推進は、単に学びの機会を提供するだけではなく、社会教育施設としての意図的な学びの場をいかに創出するかという視点に立ち、実施している事業を見直すことも必要になってきていると思います。要するに公民館における意図的で「攻め」の社会教育実践は、地域活動のリーダーの発掘、育成の可能性を有するとともに中能登町の生涯学習・社会教育を振興し、活力ある地域社会を構築する上で、重要な意義を持つものではないでしょうか。

なお、町文化協会、町子ども会連絡協議会、町実年会、町青壮年協議会、町女性協議会等の社会教育関係団体等への助成も引き続いて行われることを期待いたしますが、助成を受ける団体においても自己点検しながら適宜事業のスクラップ・アンド・ビルドに努められることを引き続き期待します。報告書には、それぞれの団体固有の悩み、課題が記されておりますが、これらの提起は、中能登町の団体だけが抱えている課題ではなく、全国の多くの関係団体の課題であると言っても過言ではありません。こうすれば良い、という特効薬のようなことを評者には提案できる力量はありませんが、「無いもの探し」ではなく、団体がもっている魅力、「良さ(有るもの)探し」をしながら、実施事業の現実的な見直し、改善や体制強化に今後とも地道に取り組んでいかれることを願っています。

#### (5)青少年の健全育成

次代を担う青少年を心豊かに育てることは、彼らよりも先行して生き、かつ青少年の「モデル」たる大人の役割であるとともに使命でもあります。

地域には、青少年を非行から守り、健全に育成することに関心を寄せる青少年育成推進委員、県警委嘱少年補導員を含む様々な団体や青少年問題協議会などが存在しており、こうした団体や機関・個人が連携するとともに、青少年の育成に情熱ある地域人材の発掘・養成・研修支援などにも引き続き尽力され、中能登の子どもたちの健やかな育成・非行防止活動の活性化に取り組まれることを期待します。

成人式は、9割近い成人の参加があったとのことですが、儀式としての側面とともに国家・社会の形成者、担い手(builder)としての若き自分、中能登町の重要な形成者の一人である若き自分を見つめ直し、人生における区切りを自覚していただく大事な学びの機会という側面を有しています。

30年度は、統合後の中能登中学校卒業生が対象となる成人式とのこと、規模の大きな「同窓会」という面がありますが、実行委員会を構成する若人のセンスに委ねるな

ど、彼らの主体性を重んじた運営により若人の「学びの場」、「自己成長の確認の機会」役に立ったということによる「自己尊重の意識」形成に寄与する機会になるものと思われる。

#### (6)国際交流事業の推進

今日、地方においても国際化の波が押し寄せていることに鑑み、中能登中学校生徒と台湾基隆市成功国民中学校との相互交流による親睦・融和及び国際的視野の形成に資するための、地域に居住する外国人や留学生らとの多文化共生イベント等を通じた交流、さらに日本語教室の開設などは、多文化理解・多文化共生を促進する上でも焦眉の課題の一つであり、今後とも積極的な取組を期待します。

#### (7)図書館の充実

巷間、活字離れが指摘される中、改めて図書館は、「活字」文化の提供拠点であり、様々な知的情報提供拠点です。さらに、主として活字媒体を通じて、所蔵する図書の利活用を通じて、地域の課題の解決、地域産業の振興、活力ある地域づくりや地域創生に寄与することも「地域や住民に役立つ図書館」像でもあるように思います。

そうした意味におきましても、図書館は、文字どおり「読書センター」であり、「学習センター」であり、「情報提供センター」であるという機能、さらには「地域創生貢献センター」的な機能を果たすことが期待されているように思います。

取り組まれておられる図書館ボランティア養成講座による「ボランティア」の育成を図るとともに、町に3館あることの長所を活かしながら今後とも図書館法第3条の「図書館奉仕」としての事業の拡充を図り、町民の読書活動への支援に取り組まれますよう期待いたします。図書館統合の検討がどの段階なのかは、寡聞にして知りませんが、住民の皆さんの利便性を考慮するのなら、評者の個人的見解ではありますが、館数に変化はないものの中央館1館、分館2館という体制はいかがでしょうか。

なお、従来から行われている家庭での「うちどく(家読)」、しかもうちどく推進賞の受賞者数の大幅増は、大きな成果とすることができます。そのほか学校図書館司書との連携による学校図書館の活性化、ブックスタート事業による乳児と絵本との出会いの機会の設定、学校読み聞かせ、お話し会、図書館講座などの充実を図りながら、町民こぞって「ホン」に親しむ環境の醸成をさらに推進していただきたいものですし、利用者の立場に立った貸し出しシステムの見直しは、評価されるべきものと思います。

## 6 生涯スポーツの振興



### (1)ジュニアスポーツクラブの充実及び(2)地域スポーツの振興

町内に22あるジュニアスポーツ教室の活動への支援及びこれら教室への子どもたちの加入奨励による加入児童数の割合が49.8%であるという現実をどう受けとめたら良いのかということについて、評者は、にわかには判断できませんが、子どもたちがスポーツに親しめる環境の整備には、引き続きご尽力いただきたいと思います。

他方、各種スポーツ種目間の交流促進、指導者の研修会への参加支援、さらに町体育協会やスポーツ推進員との連携を強化した事業などによる競技力の向上や、選手層の拡がり、全国大会や国際大会で活躍するアスリートの発掘・育成やスポーツの普及、振興に寄与する面もあることから、今後とも継続的な取組みを期待いたします。

カローリングをメインとしたスポーツレクリエーション祭についても、引き続いての拡がりや拡充を期待し、子どもから高齢者にいたる多くの町民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことができ、生きがいつくりや健康・体力づくり、生涯スポーツの裾野の拡がりを図っていただきたいと思います。

### (3)スポーツ施設の整備・充実

中能登町では公の施設であるスポーツ施設の統廃合、耐震化、大規模改修等に取り組まれてこられましたが、公共施設の活用指針に基づきながら、今後ともスポーツ振興の物的基盤たる施設の適正な管理運営に努めていただきたいと思います。

### (4)指導者の養成と選手の育成

競技スポーツであれ、生涯スポーツであれ、スポーツに親しむ町民各界各層の拡大を図る上で、指導者養成や選手の育成はないがしろにできません。今後とも積極的な事業展開を期待するとともに、全国大会へ出場する選手や関係者の負担軽減を図る措置は、今後とも継続・充実を期待いたします。

## 7 教育委員の主な活動

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたっています。また、総合教育会議の設置など新たな改革が行われておりますし、現在国が検討している平成30年度以降の第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方(概要)によると、「夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」や「生涯学び、活躍できる環境を整える」が基本的な方針として掲げられています。こうした動向を注視しながら、教育施策のさらなるブラッシュアップを図っていただきたく存じます。

教育委員の皆様が、教育の町 中能登を目指した「中能登町教育大綱」に基づいた

中能登町の教育活動のさらなる活性化，基礎自治体としての中能登町の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に大きな役割の発揮を期待します。

#### ○評価を終えて

平成 29 年度の中能登町の「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」を拝見し，改めて，限られた予算をどの事業に何のために配分し，どのような成果が得られる可能性があるか，という自己分析，また事業遂行上，改善や見直しの方向についても真摯に向き合おうとする行政意思を感じ取りました。

自己点検・自己評価をつうじて，地域住民に対する説明責任を果たすとともに，評価結果を新たな施策の推進に活かし，その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立て，今後の中能登町における教育全般のより良い発展に寄与するものであることを切に願うものです。得てして，評価行為はなされるが，その成果が次の事業活動に活かされない場合がありますので，自己点検・自己評価したままにとどめることなく，鋭意，創意工夫に満ちた事業や活動を追求していただきたいものです。

また，行政には，メリハリのきいた事業展開が求められ，かつ成果の「見える化」をいかに図るかが期待されますが，教育事業には，効率だけでは判断し得ない面があることを首肯しなければなりません。

教育行政による利益の享受者は，児童・生徒，教員，地域住民でなければならず，それはとりもなおさず中能登町，県，ひいては国家社会の利益になるものと認識します。

教育という営みは，当然のことながら長きにわたるものであり，上述したようにすぐに成果を見出すことができにくいものではありませんが，教育施策のありようが，ひと育て，地域創生に大きくかかわっているということを再認識しながら，今後とも当該事業や施策実施の必要性，緊急性，優先性，効率性，公平性，公益性など様々な視点に立って行われる自己点検・自己評価の取り組みを通じて，教育に関する事務の管理及び執行に心がけられますよう願ひ，評価を終えての言葉といたします。